

2022年度

# 事業報告書

自 2022年4月 1日  
至 2023年3月31日



## 目 次

第1	概要	1
第2	事業の状況	2
1.	「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2.	「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流」事業	6
3.	「科学知識の普及・啓発」事業	12
第3	会議等	19
第4	その他の重要事項	23

### 【別表】

(1)	2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）	26
(2)	2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）	39
(3)	2022年度海外発表促進助成助成対象者一覧表	40
(4)	2022年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表	43
(5)	2021年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表	44
(6)	2022年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表	45
(7)	役員名簿	46
(8)	評議員名簿	47

## 第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。

また、中国を始めとしたアジア諸国への図書寄贈等を通じた文化交流については、日本関係図書へのニーズの高まりに応じて各国大学図書館に対する寄贈を継続、開始するなど、揺れ動く世界情勢にも関わらず、着実な進展を見せている。

2022年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレウス公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」）の感染拡大の影響により、一部大規模な催事・イベントの中止もあったが、当初予定していた対面によるイベントも少しずつ再開することができた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2022年度笹川科学研究助成は、333件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の展開を支援するため、その研究成果発表を支援し、学術成果の広範な浸透・普及を図った。

2. 日本で収集した日本関係図書を中国、インド、ウズベキスタン、フィリピンの各大学に合計 25,221 冊寄贈することにより、アジア諸国における日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方向の「作文コンクール」「日本研究論文コンクール」等を開催することにより、日中間の相互理解の促進と友好意識の醸成に寄与した。

3. 経験豊かな専門家による中学生・高校生への研究指導（メンター）の実施により、科学・技術を担う人材の育成に努めるとともに、科学実験のデータベース、Web 版科学体験まつり、または、本会が独自に作成した教材をもとにしたWebコンテンツの公開等により、科学知識の普及・啓発に努めた。

## 第2 事業の状況

### 1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：224,248,164円（間接経費を除く）】

本事業の1)～5)については、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、6)については、自己財源による自主事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 若手研究者の研究奨励（学術研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- ③ 助成件数：310件 ※別途研究中止2件
- ④ 助成金額：192,190,996円（1件当たり平均金額619,971円）

[別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)]

- ⑤ 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者。但し、『海に関係する研究』は重点テーマとして支援し、雇用形態は問わない。

##### 2) 特定分野の研究奨励（実践研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：
  - a. 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究  
学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究
  - b. 学芸員・司書等が行う調査・研究  
学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究
- ③ 助成件数：23件 ※別途研究中止1件
- ④ 助成金額：5,854,795円（1件当たり平均金額254,556円）

[別表(2) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(実践研究)]

- ⑤ 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

今、挑戦したい研究がある！  
他からの助成が受けにくい大学院生、外国人留学生、女性研究者が行う研究の応募を歓迎します。  
『海に関係する研究』は重点テーマとして支援します。

学術研究部門 最大1件 100万円  
◆35歳未満の大学院生、雇用研究者（非常勤、任期付き）  
※重点テーマ『海に関係する研究』は、雇用形態を問いません。  
※職別、補助作業または調査員があるが、他からの助成が受け難い研究を募集します。

2022年度 笹川科学 研究助成  
締め切り：2021年10月15日

実践研究部門 最大1件 50万円  
◆学校、NPOなどに所属している方  
その活動において直面している  
社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究を募集します。  
◆学芸員・司書等  
博物館や図書館等の生涯学習施設の  
活性化に資するために行う調査・研究を募集します。  
※どちらからも応募を問いません。

Webからの申請となります。詳しくは当会HPをご確認ください  
公益財団法人 日本科学協会 笹川科学研究助成体  
URL: <http://www.jsaf.or.jp> E-mail: [jsaf@jsaf.or.jp](mailto:jsaf@jsaf.or.jp)  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階 TEL: 03-4324-5100 FAX: 03-4324-5108

	対象領域	助成件数
学術研究	人文・社会系	30件
	数物・工学系	28件
	化学系	46件
	生物系	160件
	複合系	46件
実践研究	教員・NPO職員等	14件
	学芸員・司書等	9件
合 計		333件

### 3) 研究成果公表支援（海外発表助成）

#### ① 2022年度海外発表促進助成

- a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者
- b. 助成件数：40件 ※別途辞退3件
- c. 助成金額：9,306,279円（1件当たり平均金額232,657円）

[別表(3) 2022年度海外発表促進助成助成対象者一覧表]

#### ② 2023年度海外発表促進助成の募集案内および第1期助成計画策定

### 4) 「笹川科学研究奨励賞」の選出及び授与

#### ① 「笹川科学研究奨励賞」の選出

2022年度笹川科学研究助成者の中から、笹川科学研究助成選考委員会で、16名（研究領域ごとに2名ずつ。ただし、生物系は4名）を選出した。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。

[別表(4) 2022年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表]

#### ② 「笹川科学研究奨励賞」の表彰及び研究発表

2021年度に選出された16名に対して、笹川科学研究奨励賞を授与し、賞状及び副賞（100,000円）を贈呈した。また、受賞者の研究発表動画を作成し、Webサイトで公開した。

[別表(5) 2021年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表]

## 5) 研究助成の推進

### ① 2023 年度笹川科学研究助成計画原案の作成

#### a. 募集計画策定等

「募集要項および選考方針」については、笹川科学研究助成事業委員会で、また、「選考基準および選考細則」については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うことができた。

若手研究者の置かれている厳しい研究状況を分析し、一人当たりの助成上限額を増額することで、より自由な研究が行えるようになった。

#### b. 公募

大学、研究機関、学会、博物館、図書館等約 2,200 箇所、また過去に笹川科学研究助成を受けた者やその関係者約 6,300 名に募集のためのメール配信を行った。さらに募集ポスターを作成し、大学約 800 箇所に対して送付するなど、広く周知した。

a) 募集期間：2022 年 9 月 15 日～2022 年 10 月 15 日

b) 応募件数：1,144 件の研究計画の申請を受付した。

(学術研究 1,088 件、実践研究 56 件)

#### c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2023 年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

### ② 2021 年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

### ③ 研究助成実績資料の整備

## 6) 研究成果発表会の開催

過去助成者と企業の連携強化のために、継続的なフォローアップの充実を目指し、海洋分野に関する事柄をテーマに研究成果の発表を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止した。

## (2) 事業成果等

笹川科学研究助成では、他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成することで、若手研究者の育成を図っている。自然科学のみならず、人文・社会学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し、研究への意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に貢献しているものである。実践研究では、特定分野の研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展につながることを期待できる。

本助成については、前年度の助成者の中から研究内容や成果、研究への取り組み姿勢などにおいて高く評価された者が笹川科学研究奨励賞に選出された。毎年4月に笹川科学研究助成「研究発表会」および「研究奨励の会」で表彰と発表を行っているが、昨今の新型コロナウイルスの影響により今年度も開催することができなかった。研究発表については、2020年度からは要旨だけではなく動画での発表もWebサイトで公開しており、今年度の発表については現時点で400回以上再生されるなど、非常に好評を得ており、本助成への関心の高さが窺えた。

海外発表促進助成では、本年度も新型コロナウイルスの影響がまだ残っており、申請数が伸び悩んだが、現地開催の海外研究集会だけでなくオンラインで開催される研究集会も助成対象とすることで、昨年度の助成数の12件に対し、40件助成することができた。また、2023年度の第1期には34件申請があった。現地開催の研究集会等も徐々に再開されているとの情報や、海外の研究者との交流を強く求める声が増えてきており、申請数の改善の兆しが見えている。

研究助成の推進では若手研究者の現状を分析したところ、研究内容の高度化により薬品や解析費用等の研究に必要な経費が増加していることや、新型コロナウイルスの影響や国際情勢による旅費交通費が高騰していることが分かり、従来の助成金額では研究を遂行することが難しく、若手研究者の育成のためには一人当たりの助成上限額を増やす必要があると考えた。

そこで、2023年度の笹川科学研究助成の募集要項では、一人当たりの助成上限額を100万円から150万円に増額して募集を行うこととした。またそのために必要な助成金総額の増額についても日本財団に承認された。助成上限額が増えることで今までにない新しい自由な発想による研究を行うことができるようになり、若手研究者の育成に繋がると考え、更に研究成果が論文や学会等で発表されることにより、社会貢献となることも期待している。



## 2. 「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流（日中未来共創プロジェクト）」事業

【事業経費：25,471,011円（間接経費を除く）】

本事業の1)～3)については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、4)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

### (1) 内 容

#### 1) 図書の収集・寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮のうえ各大学等の要望に基づき寄贈図書を選定後、中国、インド、ウズベキスタン、フィリピンの各大学に BOOK ENVOY PROJECT として図書を寄贈した。また、図書寄贈に対する中国を始めとしたアジア各国の要望に応じて、中国においては3大学を寄贈対象に順次追加するとともに、アジアの4ヶ国においては、新規寄贈先として合計5大学を選定した。

① 図書収集：約48,000冊（提供件数：延べ106件）

② 図書寄贈：25,221冊（寄贈大学数：4大学）

a. 中国：24,918冊（1大学）

b. アジア諸国（3ヶ国）：303冊（3大学）

2022年度 BOOK ENVOY PROJECT 図書寄贈実績表

国	大学	寄贈時期	寄贈冊数
BOOK ENVOY PROJECT（中国）			
中国	浙江越秀外国語学院	2022年5月	24,918冊
小 計			24,918冊
BOOK ENVOY PROJECT（アジア諸国等）			
インド	ティラク・マハラシュトラ大学	2023年3月	80冊
ウズベキスタン	世界経済外交大学	2023年3月	109冊
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	2023年3月	114冊
小 計			303冊
合 計			25,221冊

③ 寄贈対象の選定：合計 8 大学（5 ケ国）

a. 中 国：3 大学

東華理工大学、黒龍江外国語学院、安徽外国語学院

b. アジア諸国：5 大学（4 ケ国） ※は今年度寄贈済み

タマサート大学(タイ)

ティラク・マハラシュトラ大学（インド）※、

バナラス・ヒンドゥー大学（ ン ）、

世界経済外交大学（ウズベキスタン）※、

フィリピン大学ディリマン校（フィリピン）※



2) 笹川杯全国大学日本知識大会

2022 年秋に開催予定であった本大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止するとともに、これに係る日本招聘（対象者：20 名）も中止することとし、2023 年度の日本招聘と併せて実施することとした。

3) 作文コンクール

① 笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール（中国語版、日本語版）

中国の若者の日本に対する関心の喚起と理解の深化、日本に関する図書の読書促進を目的として、中国全国の大学生等を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを中日両語で開催した。

また、本コンクールの一等賞受賞者等合計 11 名を対象とした日本招聘については中止し、2023 年度の日本招聘と併せて実施することとした。

a. 中国語版

c) 共催機関：上海交通大学図書館

d) 対 象：中国全国の大学生、大学院生

e) 応募総数：432 点（34 大学図書館）

f) 審査結果：一等賞 5 点（日本招聘）、二等賞 10 点、  
最高組織賞 5 大学図書館

（トップ大学図書館の 1 名日本招聘）

- b. 日本語版
  - a) 共催機関：中国外文局アジア太平洋広報センター
  - b) 対 象：16 歳～35 歳の中国人
  - c) 応募総数：1,900 点
  - d) 審査結果：一等賞 4 点（副賞：日本招聘）、二等賞 8 点、三等賞 30 点、優秀賞 40 点

② Panda 杯全日本青年作文コンクール

日本の若者の中国に対する関心喚起と理解促進を目的として、“中国”をテーマに日本語で応募する作文コンクールを開催した。

また、中国訪問プログラム（訪中者 71 名）については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、2023 年度の中国訪問プログラムと併せて実施することとした。

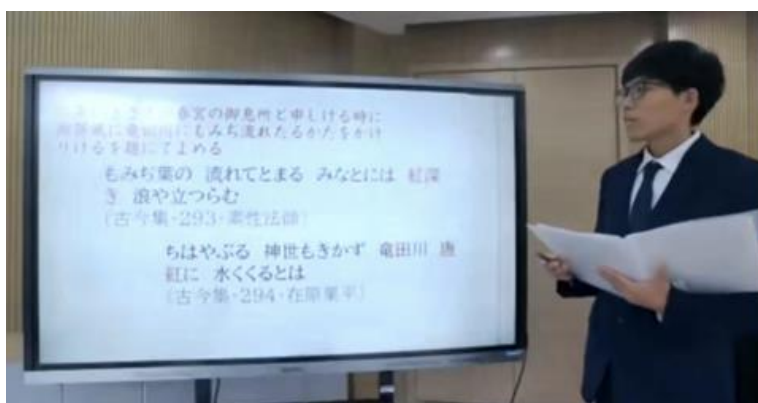
- a. 共催機関：中国外文局アジア太平洋広報センター、  
中華人民共和国駐日本国大使館
- b. テ ー マ：「@Japan わたしと中国」
- c. 対 象：16 歳～35 歳の日本人
- d. 応募総数：701 点
- e. 審査結果：優秀賞 10 点、入選 10 点、佳作 35 点
- f. 授 賞 式：オンラインで開催
  - a) 期 日：2022 年 11 月 23 日（火）
  - b) 参加者：受賞者等 約 100 名

#### 4) 笹川杯日本研究論文コンクール

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、決勝戦については、オンラインで実施した。

なお、本コンクールの特等賞受賞者合計 4 名を対象とした日本招聘については、中止するとともに、2023 年度の日本招聘と併せて実施することとした。

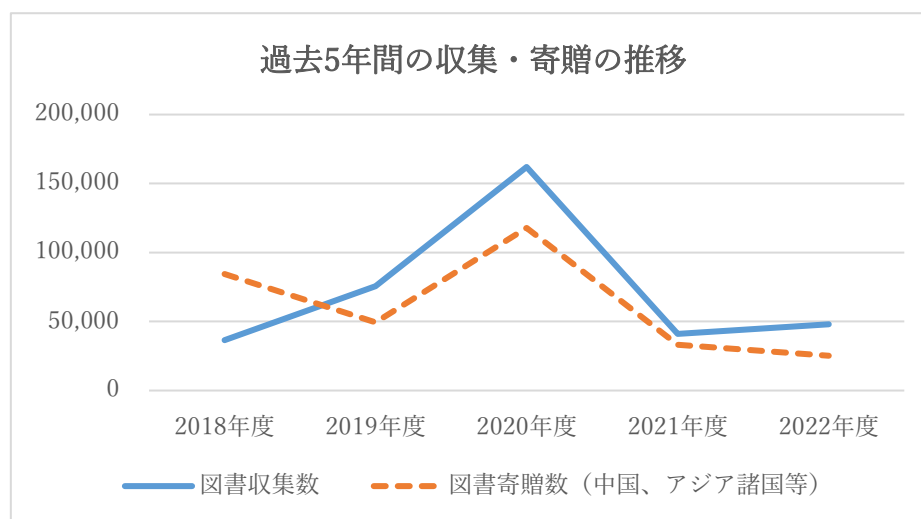
- a. 共催機関：中国日語教学研究会、吉林大学
- b. 対 象：中国全国の大学の日本語専攻学部生
- c. 応募総数：147 編
- d. 決 勝 戦：
  - a) 期 日：2022 年 11 月 27 日（日）
  - b) 参加者：一次審査通過者 46 名／30 編
  - c) 概 要：プレゼンテーション及び口頭試問
- e. 審査結果：特等賞 3 編、一等賞 3 編、二等賞 9 編、三等賞 14 編、優秀賞 44 編



#### (2) 事業成果等

図書寄贈に関しては、立教女子短期大学の閉学により本会に提供され浙江越秀外国語学院への一括寄贈が決定している図書約 74,000 冊のうち 1/3 の約 25,000 冊の寄贈が本年度内に完了、2/3 は来年度以降に寄贈完了予定であるが、これらの図書寄贈を通じて日本の大学図書館が蔵書構造を崩さず中国の大学に再現されることは、日本文化への理解促進のみならず有益図書の有効活用・保存という点からも意義深い。また、同外国語学院は、図書受入れに際し専用図書室（290 平米）を用意した他、中国国内経費として 7 元/冊、合計約 174,400 元（3,300,000 円）を負担しているが、当該図書に対する中国側の評価の高さを裏付けるものである。また、本会が、新たな試みとして中国の各大学で開始した寄贈図書に関する読書会、SNS を通じたお薦め図書情報の発信は、寄贈図書の活用のみならず中国の学生の日中交流活動への関心喚起に繋がったと期待できる。

日本語教育が発展途上にあるアジア諸国では日本関係図書への需要の高まりにも関わらず供給が追いつかない状況にあるが、アジア諸国との協力関係の重要性が高まる中、この地域の5大学（4ヶ国）を寄贈先に選定し寄贈を開始することは、各国の日本語教育環境整備の一助になると同時に日本と当該国の将来を担う人材育成の足掛かりになると期待できる。



※図書寄贈数：2021年度以前の寄贈数は対中国のみ。

日中交流活動の関しては、コロナ禍や日中関係の緊張などにより2022年は日中国交正常化50周年の節目の年にも関わらず、国家間の交流活動は行い難い状況にあったが、「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版、日本語版）、「Panda杯全日本青年作文コンクール」については、それぞれ日中国交正常化50周年事業の認定を受け記念事業の一環として実施することにより、日中間の民間交流促進に貢献することができたと期待できる。また、日中対面交流が3年余に亘り殆ど実施されていない状況の中、2022年9月、笹川平和財団による日中国交正常化50周年記念事業の開催に協力した「日中未来創発ワークショップ」は、日中の若者が両国の未来について直接意見交換し相互啓発する貴重な機会であり、本イベントで得られた理解、経験、人脈は、参加者の今後の日中交流活動や社会活動等にプラス効果を与えるものと期待できる。また、オンラインで開催した「Panda杯全日本青年作文コンクール」授賞式、「笹川杯日本研究論文コンクール」決勝戦等については、参加者相互が人的交流の意義を共有できる機会であると同時に対面交流の重要性を再認識させられる機会となった。

広報面では人民網を通じて配信した「笹川杯日本研究論文コンクール」決勝戦等の動画は、38,000 を超えるアクセスがあるなど大きな反響を得たが、日本語専攻学生、指導教員にとって研究論文の発表や質疑応答に関する模範教材となるものであり、中国の日本語教育の発展に繋がるものと期待できる。

外部支援獲得の面では、本プロジェクトは、広範な機関に CSR の一環としてプロジェクトへの支援を依頼してきたが、日本では講談社から新刊図書 11,105 冊（定価総額 9,970,990 円）の寄贈、中国では 1 企業から「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版）開催に係る協賛金として 20,000 元（約 400,000 円）を獲得することができた。

### 3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：12,884,616円（間接経費を除く）】

本事業の1)～4)については、モーターボート競走法制定40周年記念事業として、5)6)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 中高生のためのサイエンスメンタープログラム

科学に高い関心を持つ中学生・高校生に対し、学校教育の枠にとらわれずに、専門研究者による科学研究の基礎指導を実施した。

また、広く科学研究の基礎の定着を図るため、メンティと中高生・教員の希望者を対象に、統計及び研究倫理の講習を実施した。

- ① 研究指導数：14研究（うち3研究は2023年度も指導を継続する。）
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じてZoomや実地での対面指導を実施する。
- ③ 期 間：2022年4月～2023年3月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
  - a. 第13回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - a) 開催日：2022年8月7日
    - b) 内 容：メンティによる5件の研究発表をオンラインで行った。また、当該研究発表において、本プログラムの成果が顕著に認められた1件の研究を特別賞として、特に顕著に認められた1件の研究を優秀賞として選出した。
  - b. 第14回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - a) 開催日：2023年3月21日
    - b) 内 容：メンティによる5件の研究発表をオンラインで行った。また、当該研究発表において、本プログラムの成果が特に顕著に認められた1件の研究を優秀賞として選出した。

⑤ その他：

a. 統計講習

a) 科学研究体験ワークショップ

- 講師：陣内修氏（東京工業大学教授）
- 開催日：①2022年9月18日、9月19日 ②2023年3月5日、3月12日
- 参加者：①中高生25名 ②中高生30名
- 内容：全国各地の参加者が、小型コンピュータ(Raspberry Pi)にセンサをつけて温度・湿度などを測定し、統計解析を実践した。  
なお、本講習①は、独立行政法人国立青少年教育機構「子どもゆめ基金」（以下、「子どもゆめ基金」）の助成を受けて、オンラインで実施した。

b) データ集録・解析ワークショップ

- 講師：野口尚史氏（同志社大学准教授）、  
小山志穂里氏（豊田中央研究所研究員）
- 開催日：2022年8月7日
- 参加者：中高生25名
- 内容：全国各地の参加者が、小型コンピュータ(Raspberry Pi)にセンサをつけて温度・湿度・磁力などを測定し、データ解析の基本的方法を学んだ。なお、本講習は、子どもゆめ基金の助成を受けて、オンラインで実施した。

b. 研究倫理の講習

a) 「科学自由研究の完成度を高めるには」

- 講師：村本哲哉氏（東邦大学准教授）
- 開催日：2022年8月7日
- 参加者：16名
- 内容：サイエンスメンタープログラム研究発表会の同日に、科学研究を進める上で必要な研究倫理について考える機会を提供した。

b) 「誠実な研究活動 ～信頼される研究を目指して～」

- 講師：村本哲哉氏（東邦大学准教授）
- 開催日：2023年3月21日
- 参加者：9名
- 内容：サイエンスメンタープログラム研究発表会の同日に、科学研究を進める上で必要な研究倫理について考える機会を提供した。

[別表(6) 2022年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]



## 2) 科学実験データベースなどの Web 公開

伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで、様々な科学実験事例を収集網羅したデータベースを Web サイト上で広く公開した。

新型コロナウイルスの影響により家にいることが多くなった子供たちが、家でできる実験を集めた「コロナに負けるな！お家実験」というコーナーを引き続き公開した。



- ① 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会
- ② 公開内容：Web サイト上で、原体験コラム 329 点、科学実験データベース 765 点を公開している。今年度は新規データを原体験コラムに 24 点、科学実験データベースに 11 点を追加した。
- ③ 広報：兵庫県朝来市教育委員会等を通じて、小・中学校にチラシ約 2,000 部を配布した。

## 3) 子供たちへの科学実験体験

### ① 「Web 版科学体験まつり」の実施

子供達や親世代への科学実験の機会を容易にするため、オンライン上に「Web 版科学体験まつり」を作成し広く公開を行った。

今年度は、映像の分かり易さを更に向上させるため、映像制作会社に動画の作成を委託した。テロップ等を効果的に使った動画となり、対面での指導と同じように分かり易い実験ブースを作成することができた。

また、子ども達が、多数ある実験ブースの内容を把握し易くするために、実験のポイントを短くまとめて繋げた動画を作成した。

- a. 内容：Web サイト上で、実験ブース 26 点を公開。
  - a) 新規実験ブースの追加：  
実験ブース「超簡単！お手軽無限鏡を作ってみよう」を 1 点追加した。
  - b) ブース内容をまとめた動画の作成：  
実験内容のレベルごとに短くまとめた動画を 3 点作成した。
- b. 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会
  - a) 実験・演示：兵庫教育大学原体験教育研究会
  - b) 撮影・編集：公益財団法人ニッポンドットコム

## ② 「科学実験」 イベントの開催

科学実験を行う機会の少ない離島の子ども達を対象とし、サイエンスキューブ(移動式暗室)を用いた科学実験教室「離島で行うサイエンスキャンプ」を兵庫県南あわじ市の沼島で開催した。

今回は「光の不思議」をテーマとし、赤外線カメラを使った実験や万華鏡作りなどを行った。身近にある「光」を題材とすることで子供たちがイベント後も科学への興味が持続するように工夫を行った。



### ① 講師：兵庫教育大学 原体験教育研究会

泉 伸一、國眼 厚志

### ② 開催日：2022年10月23日

### ③ 場所：南あわじ市 沼島総合センター

### ④ 参加者：小中学生と保護者約30名

## 4) 地球科学の理解促進

本会で制作した短編映像「Cubic Earthーもしも地球が立方体だったらー」に関連する気象の科学実験の体験講座を開催し、地球科学の理解促進に努めた。

### ① 講師：名越利幸氏（岩手大学特任教授）

### ② 開催日：2022年8月8日、8月9日（1日2回）

### ③ 場所：港区立みなと科学館（共催）

### ④ 参加者：小中学生及び保護者129名（4回の合計）

## 5) 生命科学テキスト「人間の生命科学」プロジェクト

「人間の生命」を軸とするテキスト『人間の生命科学』の執筆者によるオンラインセミナーや、大学講義などでの本テキストの利用により生命科学の基礎知識の普及に努めた。

### ① セミナーの開催

- a. 「生命とヒトの誕生と進化」
  - a) 講師：八杉貞雄氏（東京都立大学名誉教授）
  - b) 開催日：2022年9月26日
  - c) 参加者：77名
- b. 「ヒトの誕生—卵子・精子の形成と受精、着床・妊娠、そして誕生へ」
  - a) 講師：大島美恵子氏（公益財団法人日本科学協会顧問）
  - b) 開催日：2022年10月12日
  - c) 参加者：86名
- c. 「遺伝と病気・健康～遺伝子と染色体の変異による病気や、生活習慣病と遺伝子」
  - a) 講師：山田恵子氏（元札幌医科大学准教授）
  - b) 開催日：2022年11月2日
  - c) 参加者：87名
- d. 「からだの輸送系と免疫のしくみ」
  - a) 講師：山崎壮氏（実践女子大学教授）
  - b) 開催日：2022年11月28日
  - c) 参加者：53名

### ② テキストの利用状況

- a. Web版の授業等の利用状況  
大学13件（478名）、高等学校8件（23名）、専門学校等2件（120名）
- b. クルーズ版の利用状況  
新規利用登録297名

## 6) サイエンスコミュニケーション

科学に関する様々な分野の専門家を中高生に紹介して、科学・技術への興味や関心を高めることを目指し、サイエンスメンタープログラムのOB/OGをインタビュアーとするインタビュー形式の「研究者コラム」の試作を行った。

### ① タイトル：「世界の広げ方」

インタビュイー：桜美林大学教授（気象学）

### ② タイトル：「先生の歩み」

インタビュイー：元東京農工大学教授（有機化学）

### ③ タイトル：「科学好きと科学者の違いって何だろう？」

インタビュイー：茨城大学講師（地質学）

## (2) 事業成果等

「中高生のためのサイエンスメンタープログラム」では、資質の高い中学生・高校生が、大学教授などの専門研究者から、一定の期間中科学研究の進め方を学ぶことで、より一層研究に打ち込むようになる、もしくは、早い段階から将来の目標を明確にするなど、生徒には多大な影響を及ぼしている。過去のメンティの中には、推薦入試で研究能力を評価されて大学に進学する者もあり、学業の成績が優秀なだけではない質の高い人材の育成に寄与している。顕著な例では、2021年度のメンティが、エアロゾルの可視化手法の研究を高校生科学技術チャレンジ（JSEC2022）に応募して高い評価を受け、アメリカで行われる国際学生科学技術フェア（RegeneronISEF）の日本代表に選出された。

また、メンティの他に、科学研究を行っている中学生・高校生を対象として、統計学・研究倫理の講習を実施し、科学研究の基礎的な素養を身に着ける機会を提供した。

「科学実験データベースなどのWeb公開」では、Webサイトに25万回を超えるアクセスがあり多くの方に利用された。またこれまでのデータの蓄積により、書籍での写真利用や実験内容についての質問、テレビで映像を利用したいといった問い合わせがあった。

「子供たちへの科学実験体験」における、「Web版科学体験まつり」の開催では、Webサイトに約3,800回のアクセスがあった。動画の見せ方の検討や撮影に時間がかかり、新しい実験ブースの公開が遅れたためにアクセス数は伸び悩んだが、更に分かり易い映像を作成するなど、子ども達が興味を持って利用しやすくなるように工夫を行った。

また、「離島で行うサイエンスキャンプ」には約 30 人の親子が参加し、事故等も無く盛況裡に終了し、神戸新聞、科学新聞、教育学術新聞にイベント内容が掲載された。なお、本イベントは独立行政法人国立青少年教育機構「子どもゆめ基金」に採択され高い評価を受けている。

「地球科学の理解促進」では、本会が作成した動画「立方体地球-もしも地球が立方体だったら-」に関連する気象の科学実験の体験講座を行い、小中学生を対象として地球科学に対する興味関心を喚起した。

「生命科学テキスト『人間の生命科学』プロジェクト」では、23 の大学等の講義で利用され、621 名の学生の利用登録があった。利用教員数はやや減少（昨年度：32 件）し、生徒・学生数の登録者もやや減少したが、（昨年度：888 件）、昨年度に引き続きコロナ禍における自習教材・オンライン授業の副教材として利用された。

また、昨年度に公開した一般向けコンテンツの「クルーズ版」においては、297 名の利用登録があり、登録者が大幅に増加した（昨年度：78 件）。

「サイエンスコミュニケーション」事業では、中学生・高校生に研究者をわかりやすく紹介するコラムの制作に着手した。

### 第3 会議等

#### (1) 理事会

##### 1) 第31回理事会

① 開催年月日：2022年5月24日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2021年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 第12回評議員会の開催に関する件  
全会一致で可決
- c. 第3号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件

##### 2) 第32回理事会

① 開催年月日：2022年6月21日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 会長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 会長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の月額報酬額に関する件  
全会一致で可決
- c. 第3号議案 笹川科学活性化基金規程の一部改正に関する件  
全会一致で可決

##### 3) 第33回理事会

① 開催年月日：2023年3月15日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2023年度事業計画及び収支予算の承認に関する件  
全会一致で可決

なお、役員の名簿については〔別表（7）役員名簿〕のとおり。

(2) 評議員会

1) 第12回評議員会

① 開催年月日：2022年6月21日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2021年度決算報告書の承認に関する件  
全会一致で承認
- b. 第2号議案 理事の選任に関する件  
全会一致で可決
- c. 第3号議案 監事の選任に関する件  
全会一致で可決

なお、評議員の名簿については〔別表（8）評議員名簿〕のとおり。

(3) 各種委員会

1) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議事事項
(第77回) 2022年7月13日	2023年度笹川科学研究助成募集要項等の策定について
(第78回) 2022年11月14日	2023年度笹川科学研究助成選考方針の策定について
(第79回) 2023年3月7日	1 2023年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2023年度海外発表促進助成の募集について

※いずれもオンラインにて開催した。

2) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領域	開催年月日	議事事項
数物・工学系	2022年11月28日	2023年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について (※オンラインにて開催した。)
化学系	2022年12月5日	
生物(A)系	2022年11月25日	
生物(B)系	2022年11月29日	
複合系	2022年12月7日	
海洋関連研究	2022年11月22日	
実践系	2022年12月2日	
人文・社会系	2023年1月30日	2023年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について (※オンラインにて開催した。)
実践系	2023年1月23日	
人文・社会系	2023年3月17日	2022年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について
数物・工学系	2023年3月9日	
化学系	2023年3月13日	
生物(A)系	2023年3月8日	
生物(B)系	2023年3月7日	
複合系	2023年3月10日	
海洋関連研究	2023年3月14日	
実践系	2023年3月13日	



3) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議事事項
(第10回) 2022年12月5日	2023年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について（※オンラインにて開催した。）

## 第4 その他の重要事項

### (1) 内閣府

年月日	内 容
2022年6月16日	公益目的事業の内容の変更について、認定された。
2022年6月27日	2021年度における事業報告書等の提出をした。
2023年3月16日	2023年度における事業計画書等の提出をした。

### (2) 日本財団

年月日	内 容
2022年4月1日	2022年度事業の助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2022年4月15日	2021年度事業の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2022年5月31日	2021年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。
2022年7月5日	笹川科学活性化基金規程の改定について、承認申請を行った。（2022年7月21日に承認）
2022年9月14日	2021年度助成事業の監査結果について受領した。
2022年10月7日	2022年度事業の進行報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>

年月日	内 容
2022年10月18日	2022年度事業実施のため、助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流（公益）</li> <li>・国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2022年12月20日	2022年度「日中未来共創プロジェクト」に係る変更届を提出した。（2023年2月3日に承認）
2023年3月23日	2023年度助成事業の審査結果を受理した。
2023年3月28日	2023年度事業の助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流（公益）</li> <li>・国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流ト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2023年3月28日	2023年度の笹川科学活性化基金の取崩に係る承認申請を行った。

### (3) その他

年月日	内 容
2022年4月4日	「令和4年度子どもゆめ基金」から、次のイベントの助成金交付決定の通知を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島で行うサイエンスキャンプ</li> <li>・データ集録・解析ワークショップ</li> <li>・科学研究体験ワークショップ</li> </ul>
2022年6月1日	「令和4年度子どもゆめ基金」へ、次の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、計画変更の承認申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ解析・集録ワークショップ</li> <li>・科学研究体験ワークショップ</li> </ul>
2022年10月20日	「令和4年度子どもゆめ基金」へ「データ集録・解析ワークショップ」の助成活動実績報告を提出した。

年月日	内 容
2022年11月15日	「令和4年度子どもゆめ基金」へ「離島で行うサイエンスキャンプ」の助成活動実績報告書を提出した。
2022年11月29日	<p>「令和5年子どもゆめ基金助成金」に、次のイベントの助成申請をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ集録ワークショップ</li> <li>・島で行うサイエンスキャンプ</li> </ul>
2022年12月20日	「令和4年度子どもゆめ基金」へ「科学研究体験ワークショップ」の助成活動実績報告書を提出した。

別表（1）2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	人文・社会	照井 敬生	同志社大学創造経済研究センター	研究員	1950年代イギリスにおけるメディア文化政策の研究：映画・テレビにおける公民連携に着目して	600,000
2	人文・社会	曾 小蘭	東北大学大学院国際文化研究科国際文化研究専攻	博士後期課程4年	中国近代における文学潮流に関する先駆的研究－創造社における転向問題の心理学的解明を目指して－	600,000
3	人文・社会	菊池 望	東京国立博物館	アソシエイトフェロー	青銅器生産の遠隔地域間交流からみた弥生時代中期の社会構造	345,067
4	人文・社会	野田 昇太	武蔵野大学認知行動療法研究所	客員研究員	社交不安症におけるマインドフルネスと認知行動療法を併用した高強度プログラムの有効性とメカニズムの解明	409,966
5	人文・社会	飯島 力	熊本大学大学院人文社会科学部附属国際人文社会科学研究センター	特任助教	魚籃観音像から捉える御所浦島漁師の水俣病経験－水俣病研究の人類学的展開に向けて	381,752
6	人文・社会	荒木 真歩	神戸大学大学院国際文化研究科文化関連専攻	博士後期課程4年	離島社会における民俗芸能の実践に関する人類学的研究－薩隅諸島の人の生活環境と島との関わりから	850,000
7	人文・社会	北川 涼太	広島大学大学院文学研究科人文学専攻	博士後期課程3年	20世紀初頭のイギリス海軍改革における技術者の位置づけ	740,000
8	人文・社会	谷 雪妮	京都大学	非常勤講師	戦間期中国における外国語新聞と国際関係－多言語的な言論空間に注目して	350,000
9	人文・社会	胡 一超	沖縄県立芸術大学大学院比較芸術学研究領域	博士後期課程4年	19世紀から20世紀初頭の日本・中国・欧州における陶磁貿易の研究－海上輸送の変革に焦点を当てて－	760,000
10	人文・社会	井本 葵	東京工業大学大学院環境・社会理工学院建築学系建築学コース	博士後期課程1年	京都の町家まつわる事物連関と近代化による変化	600,000
11	人文・社会	梶西 由記子	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻	博士後期課程2年	17世紀オランダ絵画に見る芸術と科学：静物画に描かれた頭蓋骨の解剖学的アプローチによる画像分析	650,000
12	人文・社会	青木 要祐	新潟大学人文社会科学系	助教	旧石器－縄文時代移行期の津軽海峡を越えた人類集団の接触－黒曜石原産地分析を中心に－	600,000
13	人文・社会	林 小百合	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部	リサーチフェロー	社会的報酬効果に基づく注意欠如・多動症の病態解明：中核症状と併存症の多様性を含めた検討	600,000
14	人文・社会	遠山 裕基	鳥取大学大学院連合農学研究科生産環境科学専攻	博士後期課程2年	東南アジアにおける多様な担い手を包摂した稲作システム：タイの組織化政策とコミュニティの関係性を事例に	521,044
15	人文・社会	内田 昌太郎	筑波大学大学院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム	博士後期課程3年	作品の視点による茶道史の再検討－瀬戸茶入の唐物模倣に着目して－	650,000
16	人文・社会	上村 知春	国立民族学博物館	外来研究員	エチオピア正教徒の食実践をめぐるローカルな健やかさの民族誌的探究	133,588
17	人文・社会	松本 祐生子	東京大学大学院人文社会系研究科欧米系文化研究専攻西洋史学専門分野	博士課程3年	独ソ戦と戦後のソ連における人の移動：レニングラードの祭典に着目して	650,000
18	人文・社会	Lee Kah Hui	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻	博士後期課程2年	日常の都市遺産マネジメント：シンガポールにおける都市景観と保護政策に関する研究	350,000
19	人文・社会	染谷 莉奈子	中央大学大学院文学研究科社会学専攻	博士後期課程5年	地方都市における重中度知的障害者の「自立生活」に関する社会学的研究－母親のかかわりに着目して	400,000
20	人文・社会	古谷 悠真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋管理政策学専攻	博士前期課程2年	近代日本における海員養成－日本海員救済会による普通海員養成の実態および歴史的役割－	430,000
21	人文・社会	坂井 華海	熊本大学大学院自然科学教育部工学専攻社会環境マネジメントコース	博士後期課程1年	民間による国際協力の可能性の検証	600,000

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
22	人文・社会	原 遼平	筑波大学大学院人文社会科学 研究科歴史・人類学専攻	一貫制博 士課程5 年	日記から見た明治期庶民の旅行行動と時間意識	450,000
23	人文・社会	蒙古 貞夫	東京学芸大学教育学部	研究員	内モンゴルにおける農耕・牧畜の祈願の伝承の研究ーモンゴル民間芸能者の祈りの実態と特質の解明を中心にー	350,000
24	人文・社会	中村 融子	京都大学大学院アジア・アフリ カ地域研究研究科アフリカ 地域研究専攻	一貫制博 士課程5 年	現代フランス陶芸における炆器を中心とした日本陶磁受容史:グローバルサウス時代の海外日本像研究に向けて	750,000
25	人文・社会	和田 大知	早稲田大学大学院教育学研究 科教科教育専攻	博士後期 課程5年	清末期におけるダライラマ13世の対ロシア外交と内陸アジアにおける「チベット仏教世界」の相関	348,381
26	人文・社会	早田 寛	慶應義塾大学大学院法学研究 科政治学専攻	博士課程2 年	現代中国の対外経済政策をめぐる地方政治:重層的政治構造に着目して	200,000
27	人文・社会	川村 潤子	名古屋大学大学院人文学研究 科文化動態学コース	博士後期 課程3年	中間層ニューカマーとしての中華料理人の移民実態と展望ー海を渡った中国人のネットワーク形成の視点から	490,000
28	人文・社会	宋 歌	東北大学大学院文学研究科総 合人間学専攻	博士後期 課程3年	対人関係言語標識の音声的実現の神経基盤:中国語語気助詞の神経言語学的検討	200,000
29	人文・社会	宮崎 星	筑波大学大学院人間総合科学 学術院人間総合科学研究群 看護科学学位プログラム	博士前期 課程2年	パンデミック禍における保健所保健師の苦悩と支援策の探究ー個人・組織のレジリエンスを高めるためにー	193,213
30	人文・社会	山本 翔平	一橋大学経営管理研究科	特任講師	無料学習サイト大規模フィールド実験でのピア効果による学習時間と学習定着の促進	466,674
31	数物・工学	高橋 佑徳	電気通信大学大学院情報理工 学研究科機械知能システム学 専攻	博士後期 課程2年	航空ロボティクスのための革新的制御手法の開発と北海道での大規模飛行実験による検証	700,000
32	数物・工学	和田 啓吾	金沢大学融合学域観光デザイ ン学類	助教	低マッハ数モデルにおける火炎面の非断熱的温度分布を考慮した伝搬速度公式の導出	65,241
33	数物・工学	秦 慎一	山陽小野田市立山口東京理 科大学工学部応用化学科	助教	高効率な熱発電モジュールを志向したn型有機材料フィルムの調製と物性開拓	700,000
34	数物・工学	大畑 友紀	岡山大学大学院環境生命科学 研究科環境科学専攻	博士後期 課程3年	価値観クラスターを指標とした「都市構造」と「ライフスタイル」の関連性の検証と新たな都市構造の提案	590,000
35	数物・工学	Isnaini Rodhiatul	大阪大学大学院工学研究科地 球総合工学専攻船舶海洋工 学コース	博士後期 課程2年	浮体式洋上風車のメンテナンスのための風波将来予測の技術開発ーデジタルツイン技術ー	810,000
36	数物・工学	本田 陽翔	東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻	博士後期 課程2年	化学的情報収集に向けた金属酸化物センサアレイの開発	450,000
37	数物・工学	石井 彩子	山形大学理学部	助教	相対論的輻射流体シミュレーションによるガンマ線バースト放射メカニズムの統一的理解	600,000
38	数物・工学	種市 慎也	横浜国立大学大学院都市イ ノベーション学府都市イ ノベーション専攻	博士後期 課程2年	暑熱環境下の換気を重視した保育施設における環境計画のための乳幼児の生理反応に関する基礎的研究	630,000
39	数物・工学	李 旭	名古屋大学大学院工学院エ ネルギー理工学専攻	博士後期 課程1年	酸化物準結晶薄膜の創製および構造と物性の解明	450,000
40	数物・工学	伊藤 花恋	名古屋市立大学大学院芸術工 学研究科	博士前期 課程2年	微破壊試験機を用いた歴史的な組積造建造物の強度推定に関する実験的・解析的研究	690,000
41	数物・工学	奈須田 祐大	東京理科大学大学院理工学研 究科物理学専攻	博士後期 課程2年	超対称量子力学の量子化条件と量子力学における可解性の探究	520,000
42	数物・工学	Verdad C. Agulto	大阪大学レーザー科学研究 所光量子ビーム科学研究部 門	特任研究 員	光励起スピントリニクスによる高強度広帯域テラヘルツイメージング光源の開発	700,000
43	数物・工学	加藤 剛臣	東北大学大学院理学研究科	博士後期 課程2年	レーザー・極低温ARPESによるカゴメ超伝導体の新奇物性発現機構解明	600,000
44	数物・工学	藤井 康之	立命館大学大学院情報理工 学研究科	博士後期 課程4年	小型水上自律移動センシングデバイスを用いた長期水上環境観測に関する研究	650,000
45	数物・工学	加賀見 俊介	筑波大学大学院理工生命情 報学術院システム情報工学研 究群構造エネルギー工学学位 プログラム	博士前期 課程2年	気泡と超音波が切り拓く低侵襲がん治療のための数理的・数値的基盤の創成	650,000

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
46	数物・工学	片岡 拓郎	立命館大学大学院理工学研究科物理科学基礎理工学専攻	修士課程2年	空気中で回転する細い弾性ロッドの形状転移	390,000
47	数物・工学	安田 瑠奈	東京農工大学大学院工学府電子情報工学専攻	博士後期課程1年	スピン偏極気体原子からのスピン移行による固体の剛体回転の検出	600,000
48	数物・工学	伊藤 真理	神戸大学 数理・データサイエンスセンター	特命准教授	医療資源の効率的な管理手法の開発	480,000
49	数物・工学	蜜澤 岳	石川県立大学大学院生物資源環境学研究科環境科学専攻	修士課程1年	手取川流砂系における沿岸漂砂の移動把握ー現在と過去の漂砂移動の変化	562,080
50	数物・工学	高橋 龍之介	兵庫県立大学大学院物質理学研究科	博士後期課程1年	元素別に光磁気制御現象の探索を可能とする汎用型実験室装置の開発	622,692
51	数物・工学	太田 雅人	大阪大学レーザー科学研究所	特任研究員	超高エネルギー電子ビーム放射機構の実験的研究	650,000
52	数物・工学	上原 拓	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程2年	AI技術を活用したオッター式底びき網の自動制御研究	730,000
53	数物・工学	岡田 和記	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程3年	5次元 Langevin 方程式による超重核領域における核分裂の動力学的研究	560,936
54	数物・工学	大森 文彦	東京工業大学大学院環境・社会理工学院建築学系	准教授	都市に近接する遊休港湾空間の利活用に向けた制度史的研究	810,000
55	数物・工学	田村 嘉章	富山大学大学院理工学教育部ナノ新機能物質科学専攻	博士後期課程1年	分子座標系における光電子放出のアト秒遅延に関する理論的研究	530,000
56	数物・工学	木下 了磨	横浜国立大学大学院環境情報学府人工環境専攻	博士前期課程2年	In situ Raman 分光法と密度汎関数計算の複合解析による白金族抽出錯体の配位挙動解明	600,000
57	数物・工学	関森 祐樹	東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻	修士課程2年	拡張可能な水中音響通信測位を用いた位置推定手法による、自律型海中ロボット群の広域海中作業	810,000
58	数物・工学	殿元 裕介	東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	修士課程2年	単結晶ナノワイヤ表面上の分子吸着・脱離現象に基づく分子識別センシング	280,000
59	化学	川脇 徳久	東京理科大学理学部応用化学科	助教	高指数面の選択的露出を目指したアセンブリナノ粒子合成法の確立	610,000
60	化学	吉田 悠太	茨城大学農学部食生命科学科	助教	塩味嗜好性を制御する脳神経回路の解明	740,000
61	化学	宮川 晃尚	筑波大学数理物質系	助教	誘導電流計測に基づく粒子表面反応分子の微量計測法の開発	740,000
62	化学	久世 雅和	明治大学研究・知財戦略機構	研究推進員	化学振動反応のパターン形成が創発する非線形現象の探索と制御	670,000
63	化学	FENG CHAOHUI	北見工業大学応用化学部地域未来デザイン工学科バイオ食品工学コース	助教	廃蜜柑皮から抽出したフラボノイドを添加したソーセージのハイパースペクトルイメージングを用いた品質評価	670,000
64	化学	Catti Lorenzo	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所	助教	ピリジニウムベースの多環芳香族ナノクリップ:新しい機能性ナノ集合体への迅速なアクセス	610,000
65	化学	甲田 優太	筑波大学数理物質系物質工学域	助教	機能不全に陥った代謝の人為的矯正を可能にするアミノ酸と短鎖脂肪酸基盤高分子自己組織化薬の開発	670,000
66	化学	鶴田 智暉	大阪公立大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程1年	イガイ類の足糸形成阻害に着目した、環境にやさしい新規防汚剤の開発研究	810,000
67	化学	田渡 司	京都大学大学院薬学研究科薬学部薬科学科	博士後期課程2年	ベンザインとアルキンのエン反応を鍵としたヘテロ原子置換アレンの立体特異的合成	740,000
68	化学	梅野 智大	昭和薬科大学薬学部	特任助教	ペプチド合成のための環境調和型アミン検出法の開発	590,000
69	化学	木下 智和	東京工業大学大学院理学院化学系	博士後期課程1年	感圧応答化学センサーの創製:細胞系への応用を目指して	670,000
70	化学	NAM Dayeon	自然科学研究機構生命創成探求センター	特任研究員	二成分シグナル伝達系 VgrR-VgrS による細胞内鉄濃度制御の分子機構解明	610,000
71	化学	楠本 壮太郎	神奈川大学工学部物質生命化学科	助教	柔軟な結晶の動的分子間を利用した特異機能性材料の創成	740,000
72	化学	原 史子	武庫川女子大学薬学部薬学科	助手	難治性乳がんの核医学イメージングを目的とした MUC16 指向性ペプチドプローブの開発	620,000
73	化学	張 米	東邦大学大学院薬学部薬学研究科医療薬学専攻	博士課程2年	未開拓天然資源であるアオガニン属植物由来の生物活性ジテルペノイドに関する成分研究	670,000

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
74	化学	田代 啓悟	成蹊大学理工学部理工学科応用化学専攻	助教	グリーンエネルギー社会を指向した触媒の表面制御による二酸化炭素の炭化水素化反応の高効率化	670,000
75	化学	孫 春朝	徳島大学大学院薬科学教育部創薬科学専攻薬品製造化学分野	博士後期課程2年	構造活性相関研究を志向したPancratistatin誘導体の立体網羅的合成研究	740,000
76	化学	内田 昇吾	東京工業大学大学院環境・社会理工学院融合理工学系原子核工学コース	修士課程2年	従来法とは逆の不純物除去を基本コンセプトとする炭酸系水溶液中での使用済み核燃料再処理技術基盤研究	610,000
77	化学	菊米 倭	静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻	修士課程2年	G4含有プロモーターを制御する人工転写因子の開発	610,000
78	化学	高野 心	北九州市立大学大学院国際環境工学研究科環境システム専攻	博士後期課程1年	粒子構造が制御されたナノ粒子による、粒子構造と細胞内在性の相関関係の解明	740,000
79	化学	篠塚 賢一	岐阜大学流域圏科学研究センター	助教	三酸素安定同位体比を用いた屋久島における急峻な地形を流れる渓流水が沿岸域へ与える窒素起源の解明	598,544
80	化学	山本 耕介	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻	助教	付加環化反応を基盤とするスピロ環状スルホンの合成法開発	610,000
81	化学	原田 美緒	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	博士後期課程2年	量子雑音限界を目指した円二色性顕微装置の開発と微小液滴におけるキラル反応場の探求	670,000
82	化学	宮原 涼	九州大学大学院薬学府創薬科学科	博士後期課程2年	酸化損傷塩基を特異的に認識しシーケンシングを可能にする人工核酸の開発	550,000
83	化学	小山田 悠介	名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻生命・応用化学系プログラム	博士後期課程1年	シアノ基を介した新しい基質活性化法の開発	740,000
84	化学	星野 翔麻	東京理科大学理学部第一部化学科	助教	単分子反応遷移状態近傍における量子状態イメージング分光法の開発	670,000
85	化学	山内 泰宏	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士後期課程2年	タングステンおよびルイス酸触媒を用いたアレーン類の脱芳香族化反応の開発	650,000
86	化学	西沖 航平	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻	博士課程1年	活性酸素発生効率の制御が可能な“がん細胞選択的ロタキサン型光増感剤”の創製	590,000
87	化学	平島 蘭	立命館大学大学院薬学部生命科学研究科生命科学専攻	博士後期課程3年	光・電気駆動型新規酸化反応を鍵とする天然資源からの立体選択的ピロリジン環構築	550,978
88	化学	岡 直輝	大阪大学大学院薬学研究科	博士課程3年	有機化合物の革新的化学合成法の開拓:アライン遷移金属触媒反応の配向制御	740,000
89	化学	河村 篤	信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所生体分子イノベーション部門	助教	デュアル触媒系によるクロスカップリング反応を鍵反応としたプロアントシアニン類の新規合成法の開発	740,000
90	化学	川上 有希子	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究水産学専攻	博士前期課程2年	北西太平洋表層におけるビタミンB12の循環機構の解明	800,000
91	化学	北村 由羽	関西学院大学大学院理工学研究科化学専攻	博士後期課程3年	蛍光指紋情報の機械学習に基づく金属-有機構造体結晶の構造予測システム創製	740,000
92	化学	高橋 那央也	北里大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程2年	安価な水溶性アミンを用いた含水溶媒系における触媒的脱水縮合アミド化反応の開発	670,000
93	化学	清水 未紀	東京電機大学大学院先端科学技術研究科物質生命理工学専攻	博士後期課程3年	パラジウム触媒を用いたフルオラスヘミアセターの直接アリアル化反応	670,000
94	化学	松本 一真	近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻	博士前期課程1年	炭素カチオンの発生を基軸とする両極合成による炭素-炭素結合形成反応の開発	740,000
95	化学	田中 希実子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻	修士課程2年	芳香族スクアルアミドの立体特性の解析と新規機能性分子の創製	610,000
96	化学	武山 光樹	北見工業大学大学院工学部地球環境工学科応用化学プログラム	博士前期課程1年	ペプチド型有機触媒を用いるマイケル付加反応の開発	550,000
97	化学	丸賀 有人	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士前期課程2年	ダブルつるまき状分子不斉化合物の合成と応用	670,000
98	化学	佐々木 由比	東京大学生産技術研究所	特任助教	多平衡系の分子自己集合体を用いた多種ドーピング薬剤の検出	740,000



別表（1）2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
99	化学	上羽 涼太郎	東京農工大学大学院農学府農学専攻自然環境資源コース物質循環環境科学プログラム	修士課程2年	河川の物質循環と生産性に影響を与えるワンドの生態系機能の解明	650,000
100	化学	柴田 理古	岐阜大学大学院工学研究科工学専攻	博士後期課程2年	希少シス型長鎖脂肪酸の大量連続化学合成系の開発	740,000
101	化学	佐山 奈緒	東邦大学大学院理学研究科化学専攻	博士前期課程1年	グリーン・ケミストリーを意識した、次期学習指導要領に対応する高校化学の反応速度の実験教材の開発	520,000
102	化学	関 莊一郎	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	博士後期課程2年	海洋性緑藻ミルの侵略的繁茂の要因となる強光環境適応機構におけるカロテノイド分子の機能解明	560,000
103	化学	眞塩 麻彩実	金沢大学理工研究域物質化学系	助教	沿岸域におけるパラジウム分布と挙動解明	440,000
104	化学	塩本 昌平	九州大学先端物質化学研究所	助教(特定プロジェクト教員)	側鎖間隔を制御した糖鎖高分子による抗血栓性表面の創出	740,000
105	生物	尾山 匠	広島大学大学院統合生命科学研究所統合生命科学専攻生物資源科学プログラム	博士後期課程1年	低密度分布に応じたハゼ科魚類の性表現の可塑性に関する研究	800,000
106	生物	自見 直人	名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所	助教	岩礁域における多毛類の起立性単群落がもたらす生物多様性創出機構の解明	760,000
107	生物	周 至文	北海道大学大学院医学研究院細胞薬理学教室	助教	マイクログリアによる睡眠の制御	700,000
108	生物	山田 和正	福井県立大学海洋生物資源学部海洋生物資源学科	助教	裸の珪質鞭毛藻を用いて珪酸質骨格の構築機構と生理生態学的意義を解く	870,000
109	生物	野口 勇貴	京都大学アイセムス高等研究院物質-細胞統合システム拠点	研究員	精子 in vivo スクリーニング法によるオス生殖細胞特異的クロロディンの同定と機能解析	630,000
110	生物	加世田 将大	熊本大学大学院薬学教育部遺伝子機能応用学分野	特定事業研究員	糸球体シングルセル解析により見出したポドサイト脆弱性機構を標的とした網羅的有効性評価	500,000
111	生物	大須賀 佑里	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	博士後期課程1年	腸内細菌代謝物による腸脳連関調節機構の解明	600,000
112	生物	川村 野乃花	帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻	博士前期課程2年	鶏卵の遊離アミノ酸の遺伝率の推定および遺伝子座の探索	550,000
113	生物	伊藤 開	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	修士課程1年	紅色光合成細菌由来抗ウイルス効果のクルマエビ類養殖への活用	320,969
114	生物	稲葉 泰子	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域	助教	粘膜上皮細胞がつくる Microridges 構造、粘液 Mucin の挙動、粘膜バリア機能の包括的理解	650,000
115	生物	松田 隆志	東京工業大学科学技術創成研究院生体恒常性研究ユニット	特任助教	水分および塩分の欲求を抑制する神経回路機構の解明	700,000
116	生物	中島 広喜	琉球大学大学院理工学研究科	博士後期課程1年	絶滅危惧種シマトラフヒメシャコをはじめとした沿岸性希少シャコ類の探索と分類学的研究	660,000
117	生物	杉田 智哉	千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻	博士前期課程1年	ホストが異なる海産キクイムシ属のもつ消化酵素の解析	650,000
118	生物	Chen Yingxi	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系	博士後期課程2年	植物細胞におけるヘム代謝系の転写開始点制御とその生理機能の解明	680,000
119	生物	梶本 麻未	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科自然科学専攻	博士後期課程2年	寄生者フサフクロムシの性決定機構の解明：フジツボ類から性多様性を探る	520,000
120	生物	古川 真央	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程1年	生殖から探る造礁サンゴ類ミドリイシ属の進化メカニズム	730,000
121	生物	塚田 耕太郎	埼玉大学大学院理工学研究科理工学専攻	博士後期課程3年	抗がん剤の治療効果を促進する阻害剤開発に資する SNM1A の解析-アカパンカビを用いた遺伝学的研究-	580,000
122	生物	吉野 雄太	岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室	助教	ヒアルロン酸代謝を促すことで表皮タイト結合バリアを強化する新規機能性素材の開発	750,000

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
123	生物	田中 愛海	東京薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻	博士課程3年	ヒト肺組織上における呼吸器細菌間クロストークの解明	600,000
124	生物	菅波 真央	福島大学食農学類附属発酵醸造研究所	特任助教	青ダイズの早期光合成能力低下プロセスの解明～光化学系I光阻害に着目して～	650,000
125	生物	大場 理幹	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	博士後期課程1年	分布南限域である三陸沿岸におけるサケ稚魚の初期生態の解明	647,717
126	生物	竹内 日向子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻生命科学コース	博士前期課程2年	褐藻トゲモクの生態的「強さ」の謎に挑むー岩礁域に同所的に生育するトゲモクとオオバモクの網羅的比較ー	750,000
127	生物	竹内 悠介	京都大学医生物学研究所	研究員	抗原特異的 TCR シグナル刺激による自己反応性 Th 細胞の病原性機能獲得メカニズム	750,000
128	生物	富樫 彩音	富山大学大学院理工学研究科理工学専攻地球生命環境科学プログラム	修士課程1年	メダカの海水適応を可能とする Ca <sup>2+</sup> 依存的なクロライド排出機構の解明	660,000
129	生物	阿部 友希	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻	博士前期課程2年	VMO1 の角膜保護作用に関する研究	600,000
130	生物	工藤 三希子	九州大学大学院システム生命科学研究科生命理学専攻	一貫制博士課程5年	分泌型タンパク質 Akhirin はミクログリアの活性化を介して神経幹細胞の増殖を制御する。	680,000
131	生物	川村 龍矢	金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻	博士前期課程2年	アカテガニの幼生の生理学的・時間生物学的研究:海水適応能及び潮汐リズムの解析	810,000
132	生物	Akutsu Silvia Natsuko	広島大学原爆放射線医学研究所放射線ゲノム疾患研究分野	助教	ゲノム編集技術を用いたトリソミーレスキュー追跡システムの構築	750,000
133	生物	鮫島 翔太	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程3年	サンゴ礁海域におけるヒメジ科魚類の採餌戦略の進化と随伴魚種との相互依存的関係の解明	400,000
134	生物	新田 陽平	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター	特任助教	パーキンソン病は $\alpha$ シヌクレインの摂取によって引き起こされるのか?:シヨウジョウバエモデルの樹立	700,000
135	生物	大町 知輝	室蘭工業大学大学院工学専攻	博士後期課程1年	水産系廃棄物アコヤガイ貝殻真珠層の有効利用ー機能性食品としての利用ー	708,278
136	生物	福嶋 悠人	東京大学生物科学専攻	特任研究員	初期発生におけるヒストンスーパーアセチレーション:その機能と分子メカニズムの解析	630,000
137	生物	横川 大祐	明治大学大学院農学研究科農芸化学専攻	博士後期課程1年	糸状菌より発見された新規脂質成分であるステロールアミノ酸誘導体の生理機能の解明	740,000
138	生物	貴田 大智	北里大学大学院医療系研究科医科学専攻	修士課程2年	神経軸索線維束の内包の形成における膜貫通タンパク質 Linx の作用機構の解明	600,000
139	生物	藤原 弘貴	北里大学大学院海洋生命科学研究所海洋生命科学専攻	修士課程2年	東日本大震災が岩手県越喜来湾におけるウキゴリ属 Gymnogobius 3 種の出現動態に与えた影響	680,000
140	生物	松井 英明	水産大学校生物生産学学科資源増殖学講座	助教	海産カイアシ類の性比の偏りへ及ぼす栄養要求性の雌雄差の影響に関する研究	797,215
141	生物	西 航司	酪農学園大学獣医学群獣医学農根	研究生	Trueperella pyogenes のバイオフィーム形成がウシ子宮炎の病態に及ぼす影響	630,000
142	生物	門田 宏太	島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻	博士前期課程2年	地上部で合成されるイソペンテニルアデニン型サイトカイニンの新たな機能の解明	740,000
143	生物	遠藤 勝紀	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻生物・生命科学分野	博士課程2年	免疫代謝を制御する食品成分ガラクト型プロシアニジンの標的分子の同定	550,000
144	生物	中陳 遥香	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻海洋生物環境学分野	修士課程1年	海棲哺乳類のテロメア長および変化量とその要因に関する研究	660,000
145	生物	溝端 秀彬	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程1年	ムカデミノウミウシを用いた水生無脊椎動物ー褐藻共生に関する分子生物学的研究	660,000
146	生物	齊藤 瞭汰	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻化学生命理工学コース	修士課程2年	カタウレイボヤの心臓の分化と拍動調節に関与する転写因子の同定と機能解析	540,000
147	生物	笠原 由佳	九州大学医学研究院応用幹細胞医科学部門応用幹細胞医科学講座基盤幹細胞学分野	特任助教	熱性けいれん誘発性てんかん原獲得における神経系ー免疫系クロストークの役割解明	700,000

別表（1）2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
148	生物	谷川 真穂	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻	修士課程2年	サルバ類 <i>Thaliademocratica</i> 突発的高密度群形成要因の解明:固定試料を用いた摂餌生態復元	400,000
149	生物	水池 彩	国立感染症研究所品質保証・管理部	主任研究官	新規チャンネル型脂質輸送タンパク質の同定と機能解析	681,994
150	生物	森川 勝太	東京大学大学院薬学系研究科	特任研究員	Axo-axonic 細胞特異的な観察と操作による情動回路の解析	740,000
151	生物	岡本 俊輔	日本大学大学院獣医学研究科獣医学専攻	博士課程3年	RNA 分解型アンチセンス人工核酸を用いた日本脳炎ウイルス増殖抑制メカニズムの解明	550,000
152	生物	松田 康佑	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻	博士後期課程1年	摂餌海域における大型外洋性魚類の水平移動を規定する要因を明らかにする	600,000
153	生物	米谷 達哉	国立がん研究センター研究所がん細胞システム研究ユニット	特任研究員	膀胱がん腫瘍微小環境を再現する細胞共培養系の開発	598,898
154	生物	平石 直樹	長崎大学大学院教育学部教育学研究科教職実践専攻	修士課程3年	海産種を中心としたアメンボ類の分子系統解析	680,000
155	生物	雨坂 心人	京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程1年	CSP を骨格とするオートクレーブ処理可能な抗体模倣分子の創生	740,000
156	生物	今泉 滉	京都大学大学院生命科学研究所統合生命科学専攻全能性統御機構学分野	修士課程2年	塩基置換型ゲノム編集による光合成活性増強シロイヌナズナ変異体の作出と解析	700,000
157	生物	宮寄 海成	北里大学大学院海洋生命科学研究所海洋生命科学専攻	修士課程2年	テトロドトキシン類縁体によるフグ類誘引活性の解明	600,000
158	生物	中谷 一真	千葉大学大学院医学薬学府先端医学薬学専攻	博士後期課程1年	Coding と noncoding RNA を判別する新規指標「PTI スコア」を用いた翻訳制御機構の解明	750,000
159	生物	大友 洋平	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士後期課程2年	小型甲殻類ワレカラにおける海洋環境に適応した特異的ボディプランの形成機構	665,756
160	生物	前田 裕也	京都大学大学院農学研究科応用生物学専攻	修士課程2年	アオウミガメ幼体の脱出行動における音の機能：適切な音環境の確保に向けて	580,000
161	生物	福永 耕大	琉球大学戦略的研究プロジェクトセンター	特任助教	代謝リズムに着目した最適給餌スケジュールの探究～時間生物学知見から美味しい魚を育てる～	820,000
162	生物	布施谷 百合香	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士前期課程2年	ゲノム編集技術を用いて <i>Coccomyxa</i> sp.Obi 株における DGAT2 の真の機能を明らかにする	550,000
163	生物	太田 風歌	鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻	博士前期課程2年	汽水と海水の境界におけるフナムシ類の分布制限要因の解明－共生微生物と繁殖干渉に着目して－	341,714
164	生物	谷前 進一郎	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	博士前期課程2年	異なる空間スケールにおける海藻の群落構造を決定する環境要因の解明	640,000
165	生物	中根 快	愛媛大学大学院理工学研究科数理物質科学専攻地球進化学コース	博士前期課程2年	堆積 DNA を用いた海産カイアシ類及び海棲哺乳類スナメリの長期個体数復元の試み	680,000
166	生物	田中 優斗	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	修士課程2年	マナモコの流体力特性と海中構造物の流体力学的陰影が個体に与える影響	780,000
167	生物	中山 敦仁	国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット	博士後期課程4年	異常 RNA の空間的分布の解明	600,000
168	生物	熊谷 信是	弘前大学農学生命科学部生物学学科	研究機関研究員	プラナリアにおける2つの生殖様式を制御する FGF 受容体関連遺伝子群の相互関係の解明	600,000
169	生物	黄 燦	東京大学大学院新領域創成科学研究科	博士後期課程1年	海洋の有機物分解過程解明に向けた「波の花」微生物のゲノム・メタゲノム解析	810,000
170	生物	佐々木 麻綾	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群フロンティア医科学学位プログラム	修士課程1年	新たに見出したクオラムクエンチング系による黄色ブドウ球菌の病原性制御の解明	660,000
171	生物	高山 のあ	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻水産工学講座	博士前期課程2年	海底地形構造がもたらす中深層性魚類マイクロネクトンの空間分布と日周鉛直移動様式の変化に関する研究	730,000
172	生物	閻 乃箏	北海道大学	特任助教	スケトウダラ0歳魚の広帯域ターゲットストレングスの解明	760,000

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
173	生物	吉田 拓海	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻	博士課程2年	ネコ胚性幹(ES)細胞株の樹立と始原生殖細胞様細胞への分化方法の確立	490,000
174	生物	石橋 可菜	島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻	博士前期課程2年	植物における酸化ストレス誘導性プログラム細胞死の新展開:細胞死実行因子の同定	740,000
175	生物	井原 大	滋賀医科大学解剖学講座神経形態学部門	助教	神経幹細胞におけるp53の新規制御機構の解明	650,000
176	生物	GUO RUNZHAO	広島大学大学院統合生命科学研究科生命医科学プログラム	研究員	神経疾患の理解を目指したDynamin-2とCAMSAPの相互作用による微小管動態制御機構の解明	750,000
177	生物	三尾 謙次郎	鹿児島大学大学院農林水産学研究科水産資源科学専攻	修士課程2年	ナイルティラピア養殖での性ステロイドホルモン投与に依存しない単一生産モデルの検討	500,000
178	生物	城取 良樹	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士後期課程3年	シアノバクテリアの光合成生育に必要な新規機能未知遺伝子の機能解明	481,820
179	生物	児嶋 大地	京都大学大学院情報学研究所社会情報学専攻	修士課程2年	複数安定同位体比情報を用いたスズキの河川利用実態の解明	810,000
180	生物	Albelda Ritzelle	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士課程2年	沖縄の深場サンゴ礁におけるサンゴ-海綿動物の種間関係	540,000
181	生物	小川 雅文	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士前期課程2年	ゲノム編集を用いた性染色体の常染色体転換の模倣と遺伝子量補償の変化	700,000
182	生物	古谷 朋之	立命館大学生命科学部生物工学科	助教	植物進化を駆動してきた分子ネットワークの変遷-植物特異的BZR転写因子の分子進化と研究領域拡張	740,000
183	生物	田中 一樹	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻	博士後期課程1年	微小管結合タンパク質の機能消失が音声コミュニケーションに与える影響	750,000
184	生物	一岡 優吾	北里大学大学院海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻	修士課程2年	濾胞樹状細胞に相当する細胞は魚類に存在するか	451,280
185	生物	伊藤 柚里	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻厚岸臨海所	修士課程1年	アマモ場のマイクロプラスチック捕捉効果:葉上部による捕捉率と捕捉後の動態の解明	650,000
186	生物	藤原 睦也	横浜市立大学大学院生命医科学研究科生命医科学専攻	博士前期課程2年	光遺伝学による液-液相分離制御を用いた局所翻訳調節とシナプスの形態・機能の解析	740,000
187	生物	岡崎 夏鈴	東洋大学大学院生命科学研究科生命科学専攻	博士後期課程1年	不定芽形成を開始するサイトカイニン生合成遺伝子の転写促進因子の同定	550,000
188	生物	谷口 隼也	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	博士前期課程2年	カニの横歩きはどのように進化してきたか?:祖先形質の推定と生態的特性の統合解析による行動進化の解明	408,219
189	生物	池田 優成	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻	博士課程2年	筋線維に細胞老化が誘導される生理学的意義	550,000
190	生物	大土 直哉	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸海洋研究センター	助教	危機回避戦略の異なるヤドカリ類の潮下岩礁上の微地形利用様式の比較	750,000
191	生物	田島 寛大	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程2年	アカウミガメを用いた潜水深度決定の要因解明、及び、海洋気象観測への応用	450,000
192	生物	一ノ瀬 智士	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程2年	ヨコエビ類における長鎖多価不飽和脂肪酸(LC-PUFA)生合成能の多様性に関する研究	560,000
193	生物	伊藤 壽将	東京農業大学大学院生命科学研究科バイオサイエンス専攻	博士前期課程2年	マウス始原生殖細胞における性分化関連microRNAの役割	742,920
194	生物	伊藤 優花	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	博士前期課程2年	季節性貧酸素水塊において生産されたダークカーボンカタクチワシは利用するか?	760,000
195	生物	氏部 浩太	青山学院大学大学院理工学研究科理工学専攻生命科学コース	博士後期課程1年	早老するゼブラフィッシュを用いた老化の研究	730,000
196	生物	大納 進太郎	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻海洋計測学講座	修士課程2年	自動船舶識別装置(AIS)を用いた北太平洋における日本・中国アカイカ漁場とその環境要因の解明	790,000
197	生物	片野 亘	東洋大学大学院生命科学研究科生命科学専攻	博士後期課程3年	心筋増殖および洞房結節形成における転写因子Sall1/4の機能解析	680,000
198	生物	高田 真子	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	修士課程2年	海表面マイクロ層に生息する海洋微生物の光利用と光防御-海洋微生物の新たな光戦略の探索-	550,000
199	生物	向井 励	近畿大学大学院農学研究科水産学専攻	修士課程2年	魚類養殖由来の有機物は活発な細菌の動態にどのような影響を与えるか	760,000

別表（１）２０２２年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
200	生物	竹内 颯	北海道大学大学院環境科学院 生物圏科学専攻生態遺伝学コース	修士課程 1年	消化管内共生微生物の脂質分解によるクジラ目の食性収斂	750,372
201	生物	北口 あやの	大阪市立大学大学院理学研究科 生物地球系専攻	修士課程 2年	エビーハゼ相利共生における「双方向の給餌」は餌環境の乏しい珊瑚礁域で発達したのか？	660,000
202	生物	池田 行徳	東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻	博士後期課程 2年	三次元微小血管モデル作製技術を基盤とした、ポリクローナル転移時におけるがん血管内外浸潤動態の解明	650,000
203	生物	間瀬 輝	岡山大学大学院自然科学研究科 生物科学専攻	博士前期課程 2年	ゼニゴケ仮根細胞の成長方向を指令するNIMA 関連キナーゼの機能解析	500,000
204	生物	武藤 滉	三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻	博士前期課程 2年	形態および遺伝子から見たミズハゼ属群の系統類縁関係	610,000
205	生物	張 瑞軒	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻	博士後期課程 1年	巨大ウイルスによる宿主翻訳システムの乗っ取り機構の解明	700,000
206	生物	村上 将希	東北大学大学院生命科学研究科	博士後期課程 1年	種分化と分散能力の関係を検証する：伊豆諸島の風散布植物をモデルとして	560,000
207	生物	池垣 幸宏	神戸大学大学院理学研究科 生物学専攻	博士後期課程 1年	新規老化関連遺伝子 EPN3 の機能解析－老化関連疾患に向けた治療法の分子基盤の確立－	630,000
208	生物	Watcharapon Promsut	東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻	博士課程 3年	ヒト COFG 症の原因遺伝子である Mab2111 欠損マウスでの包皮腺/会陰腺の低形成とエネルギー代謝	547,811
209	生物	矢野 光一	創価大学大学院理工学研究科 環境共生工学専攻	博士前期課程 2年	宇宙から観る植物プランクトン：植物プランクトン機能タイプ（PFT）とその光学特性の解明	430,000
210	生物	富士 大輔	山梨大学大学院医工農学総合教育部 生命環境学専攻バイオサイエンスコース	修士課程 2年	アレルギー性疾患に関連する新規 IL-5・IL-5R 間相互作用阻害剤の同定と機能解析	670,000
211	生物	山崎 綾子	千葉大学大学院医学薬学府 先端医学薬学専攻	博士課程 3年	新たなセラミド 1-リン酸産生酵素の同定と生理機能解明	740,000
212	生物	永井 大翔	琉球大学大学院理工学研究科 海洋自然科学専攻	博士前期課程 2年	環境 DNA による西表島固有種シヨクタテナガエビと河川陸封型スマエビ類の分布推定および種多様性について	650,000
213	生物	菅原 早紀	岐阜大学大学院自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻	修士課程 2年	日本産淡水性カメ類による種子散布行動の解明	510,000
214	生物	瀬戸口 優乃	宮崎大学大学院農学研究科 農学専攻応用生物科学コース	修士課程 2年	管理栄養士が慢性腎臓病患者のための低カリウム含有サツマイモを作る	700,000
215	生物	小森谷 泰	筑波大学大学院生命地球科学研究群 環境科学学位プログラム	修士課程 1年	島嶼における昆虫の飛翔能力消失の解明：ハチジョウノコギリクワガタはなぜ飛べないか	650,000
216	生物	上原 春香	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科 自然科学専攻	博士後期課程 1年	学習の連鎖が引き起こす水田生態系における間接効果の評価	540,000
217	生物	谷内 美月	筑波大学大学院理工情報生命術院 生命地球科学研究群環境科学学位プログラム	博士前期課程 2年	鉱山跡地に生育するミゾソバの重金属耐性機構及び内生細菌の機能の解明	570,000
218	生物	山崎 惟吹	静岡大学大学院総合科学技術研究科 農学専攻応用生命科学コース	修士課程 2年	強酸性茶園土壌へのアルカリ資材投入による微生物叢変動の解明	650,000
219	生物	嶋田 翔弥	富山大学大学院理工学教育部 生物学専攻	修士課程 2年	ゼブラフィッシュを用いた魚類特有の神経再生能の解明	590,000
220	生物	佐藤 初	広島大学大学院統合生命科学研究科	博士後期課程 1年	ニセクロソギギンポにおける保護擬態の効果の実験的検証	260,000
221	生物	榎本 孝晃	岩手大学大学院連合農学研究科 地域環境創生学専攻（配属：山形大学）	博士後期課程 2年	島嶼における外来哺乳類の種間関係：奥尻島における外来食肉目 3種のニッチ分割評価	690,000
222	生物	平松 健太郎	鹿児島大学大学院農林水産学研究科 食品創成科学専攻焼酎発酵・微生物学コース	修士課程 1年	鯉節カビが有性世代から無性世代に変化する現象の意義とメカニズムの解明	750,000
223	生物	糸井川 壮大	明治大学農学部農芸化学科	博士研究員	両生類における味覚の環境適応：変態による食性・生活圏転換は味覚を変化させるのか？	650,000

別表（1）2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
224	生物	渡部 侑果	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻流域環境学コース	博士前期課程2年	「シマヘビによる魚食が佐渡島の森川海間の物質循環に与える影響」	315,177
225	生物	任 亮	名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻	博士後期課程1年	冬期のうつ様行動の分子基盤の解明	630,000
226	生物	花輪 万智	放送大学大学院文化科学研究科	博士後期課程1年	都市緑地において鳥類は池からどのような生態学的影響を受けているか	530,000
227	生物	藤田 凌平	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	博士後期課程2年	新規ベリーの成分の予測モデル構築－ハスカップ種間雑種を利用したトランスオミクス解析－	640,000
228	生物	上西 太朗	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物系統学学科	修士課程2年	小型オオムカデの系統分類：東アジアにおける多様化の過程と進化史の推定	440,000
229	生物	和田 智竹	総合研究大学院大学複合科学研究科極域科学専攻	一貫制博士課程5年	南極湖沼における濾過捕食者ヒルガタワムシの生態の解明	405,000
230	生物	笠谷 幹朗	日本大学大学院生物資源科学研究科生物環境科学専攻	博士後期課程1年	オタマジャクシにおける段階的な捕食リスクと対応した誘導防御メカニズムの解明	330,000
231	生物	萩原 絢子	東京農工大学大学院農学府共同獣医学専攻	博士課程1年	葉と類似した鱗翅目スズメガ科幼虫の仮装および背景同調効果の検証	750,000
232	生物	清水 洲平	北海道大学大学院理学院自然科学専攻	博士後期課程3年	形質獲得の順序関係を検出するアプローチ：巨大化を可能にした形質について	510,000
233	生物	上野 尚久	千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻生物学コース	博士後期課程2年	種間と種内でみられる生態的創発現象の遺伝情報による統合	700,000
234	生物	柿沼 駿輔	東京農工大学大学院生物システム応用科学府共同先進健康科学専攻	博士後期課程2年	なぜ飛翔能力を捨てたのか？－コウチュウ目における後翅の退化機構の解明－	600,000
235	生物	篠原 従道	大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻	博士後期課程2年	昆虫の脱皮回数制御機構の解明に向けた新規アプローチ～タンポコオロギの特殊な脱皮回数制御機構の解析～	590,000
236	生物	TANG YU	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻	博士後期課程2年	下水処理場における薬剤耐性遺伝子の拡散可能性に関する研究	700,000
237	生物	時田 駿	新潟大学大学院自然科学研究科	博士前期課程2年	被災アカネズミを用いた低線量・低線量率慢性放射線被ばくの生殖細胞系列へのバイオドシメトリー法の確立	466,873
238	生物	細木 拓也	国立遺伝学研究所	特任研究員	東北震災後に出現したトゲウオ集団における交雑後も二種の遺伝的分化が維持される機構	650,000
239	生物	左倉 和喜	自然科学研究機構基礎生物学研究所進化発生研究部門	研究員	陸生昆虫における遊泳行動の進化過程推定	390,000
240	生物	飯山 香織	創価大学大学院理工学研究科環境共生工学専攻	博士前期課程1年	南極高塩分海跡湖ざくろ池に生息する共生性未培養バクテリアの集積培養と分離の試み	560,000
241	生物	内村 望空	鹿児島大学大学院農林水産学研究科食品創成科学専攻	修士課程2年	鹿児島在来カンキツ類の抽出油における皮膚保護作用の解明及び美白効果の評価に対する新規動物実験の構築	750,000
242	生物	今竹 翔一朗	宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科医学獣医学専攻	博士後期課程3年	外来キノボリトカゲの社会性を利用した駆除方法の検討およびその越冬能力の解明	682,340
243	生物	諸岡 真希	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士前期課程2年	小笠原諸島における外来種グリーンアノールトカゲの生態系への影響と環境への適応進化	400,000
244	生物	吉川 広輝	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物学学位プログラム	博士後期課程1年	軟体動物における硬組織形成の進化的起源の解明	700,000
245	生物	古川 沙央里	京都大学生態学研究センター	非常勤研究員	寄生的送粉者は宿主を共有する共生的送粉者を脅かすのか？	750,000
246	生物	竹田 山原楽	東北大学大学院生命科学研究所生態発生適応科学専攻個体ダイナミクス講座動物発生分野	博士前期課程2年	鳥類のはばたき飛翔を生み出す骨格形態の形成メカニズムの解明	650,000
247	生物	宇野 友里花	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士後期課程1年	恐竜－鳥類系統における手骨格の「発生フレームシフト」進化に関する発生機構的研究	730,000
248	生物	小寺 稜	鶴見大学歯学部	助手	マイルカ類の特殊な歯根膜の形態学的・分子生物学的解明	700,000

別表（１）２０２２年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
249	生物	伊藤 和顕	帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻	博士前期課程 2年	ウシからのメタン排出削減を実現する飼料用樹木種の探索	400,000
250	生物	西本 誠	東京大学大学院	博士課程 3年	野外データを用いた間接効果の統計的評価手法の開発	620,000
251	生物	神原 昂太	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻	修士課程 1年	「麦踏み」応答を司る分子機構の解明	650,000
252	生物	南 斗真	宮崎大学大学院農学研究科植物生産環境科学コース	修士課程 2年	タバコカスミカメ <i>Nesidiocoris tenuis</i> の共生細菌リケッチアの役割解明	650,000
253	生物	齋藤 萌絵	山形大学大学院農学研究科農学専攻生物環境学領域	修士課程 2年	サワグルミの細根滲出物が林床木本植物の細根生長に与える影響	190,505
254	生物	吉川 雄大	京都大学大学院農学研究科応用生物学専攻海洋生物環境学分野	修士課程 1年	赤外線ビデオカメラを用いた長期撮影によるニホンウナギの遡上に対する河川横断構造物の影響評価	750,000
255	生物	瀬戸 美文	高知大学大学院総合人間自然科学研究科黒潮圏総合科学専攻	博士後期課程 2年	機能形質データを用いた、維管束着生植物の生育可能な気候範囲の解明	500,000
256	生物	大槻 恒介	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	博士後期課程 1年	再野生化湿地の生物多様性の評価と保全：湿地棲鳥類の生息環境を指標として	560,000
257	生物	八嶋 勇気	近畿大学大学院農学研究科環境管理科学専攻	博士後期課程 1年	ドジョウ類における異種からのミトコンドリア移入がもたらす生態的優位性の解明	720,000
258	生物	佐藤 大気	藤田医科大学医学科学研究センターシステム医科学研究部門	助教	恐怖反応の創発特性に関する進化遺伝基盤の検証	539,396
259	生物	伊藤 直哉	九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	博士後期課程 2年	コオニケシキスイ属（甲虫目ケシキスイ科）のオスが持つ左右非対称な大腮は儀式的闘争のシグナルか？	550,000
260	生物	江指 万里	北海道大学大学院理学院自然科学専攻多様性生物学講座 III	修士課程 3年	鳥類の共同繁殖の進化の推進力は何か？－重種リュウキュウオオコノハズクを活用した研究－	650,000
261	生物	渡邊 拓巳	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	修士課程 2年	恐竜－鳥類系統の顎関節と中耳の進化	670,000
262	生物	中川 颯也	総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻	博士後期課程 1年	アサガオが朝に開花する分子機構の解明	650,000
263	生物	田村 ゆり	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程 1年	海洋島における新しい花シンドローム：小笠原諸島における白色花の平行進化	582,148
264	生物	福岡 太一	三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻	博士前期課程 2年	三重県大内山川におけるドローンテレメトリーを用いたナガレヒキガエルの春眠場所の特定	590,000
265	複合	河村 健太	茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科	助教	脊髄損傷後の超早期呼吸リハビリテーションによる横隔神経運動ニューロンの可塑性の解明	700,000
266	複合	荻野 魁人	会津大学大学院コンピュータ理工学研究科コンピュータ・情報システム学専攻	修士課程 1年	機械学習による月の南北極未踏地域の電子地図製作	667,745
267	複合	加納 拓馬	埼玉県立大学大学院	博士後期課程 3年	脂肪由来幹細胞エクソソームは、完全損傷前十字靭帯の自己治癒能力を促進しうるか	600,000
268	複合	尹 珊瑚	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科食機能保全科学専攻	博士前期課程 2年	アコヤガイ足糸のバイオミメティクス素材としての可能性	460,000
269	複合	村田 健児	埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科	助教	筋芽細胞を対象とした性差におけるメカニカルストレス感受性の検証	598,447
270	複合	唐木 文霞	北里大学薬学部	助教	グレリン受容体のアロステリック結合部位に関する研究：存在の証明と機能的意義の解明	600,000
271	複合	宇佐見 享嗣	名古屋大学大学院理学研究科	研究員	昆虫による分子ナノカーボンの生体内動態機構の解明	700,000
272	複合	大成 冬真	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農林海洋科学専攻	修士課程 1年	海洋環境等での自己分解制御能を有する生分解性プラスチックの開発	800,000
273	複合	野村 美帆	神戸大学大学院海事科学研究科	博士前期課程 2年	プラスチックに含まれる非フタル酸可塑剤が海藻類の増殖に及ぼす影響評価	700,000
274	複合	梶原 侑馬	沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット	一貫制博士課程 2年	視床室傍核における報酬・罰学習の神経機構の解明－双極性障害の病態解明を目指して－	593,912

別表(1) 2022年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
275	複合	佐藤 瑞穂	常磐大学人間科学部健康栄養学科	助教	トップアスリートの全身栄養状態を評価する尿検査方法の開発	399,000
276	複合	藤田 理沙	広島大学大学院統合生命科学研究所統合生命科学専攻	博士後期課程1年	駆動体分子と相互作用する両親媒性分子による、自己駆動体の運動様相への影響	700,000
277	複合	相田 泰毅	慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻	博士課程3年	『環状アミドの反復連結法』を用いたオリゴピロリジン骨格の迅速構築とそのRNA認識能の評価	750,000
278	複合	菊池 顕生	沖縄科学技術大学院大学進化ゲノミクスユニット	博士課程1年	シロアリが建設する構造の力学的な機能とそれをつくる行動メカニズムの解明	434,270
279	複合	竹内 朝陽	岐阜大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻	博士課程2年	脂質代謝改善ペプチド IIAEK の媒介する新規腸コレステロール吸収調節系の先進的展開	700,000
280	複合	Duran Gomez Gloria Silvana	東京海洋大学大学院海洋資源環境学専攻	博士前期課程2年	乱流混合とそれに伴う海洋化学生物学的応答をサブメソスケールで解像する新しい自由落下曳航式観測の確立	870,000
281	複合	小笠原 佑衣	大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ心理学専攻	博士後期課程3年	慢性運動期間中における起床時コルチゾール反応の応答-アロスタティックロードによる影響を明らかにする-	700,000
282	複合	千葉 幸介	大阪大学大学院薬学研究科創成薬学専攻	博士後期課程2年	デオキシリボザイムを用いた一塩基変異選択的にRNA切断する創薬ツールの開発	700,000
283	複合	劉 自振	長岡技術科学大学大学院工学研究科エネルギー・環境工学専攻	博士後期課程1年	微小腫瘍の超早期診断・治療を実現するクロロフィル含有アパタイトナノ結晶の創製	550,000
284	複合	高守 幸男	山梨大学大学院医工農学総合教育部統合応用生命科学専攻生命工学コース	博士後期課程1年	炎症性疾患に関連するIL-17RA/IL-17間相互作用を阻害する新規人工化合物の創製と機能解析	750,000
285	複合	瀬川 海	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教科教育実践学専攻・生活・健康系教育連合講座(滋賀大学配属)	博士後期課程2年	知的障害児の自尊感情を育む親子SUPヨガ	550,000
286	複合	米谷 珠萌	明治大学大学院物理学専攻	博士前期課程2年	高精度高圧力実験と統合熱力学モデルから迫る地球核ケイ素含有量の解明	777,414
287	複合	三島 大雅	名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻生命・応用化学系プログラム	博士前期課程2年	レジスタンス運動による骨格筋適応におけるmTORC1の役割の再考-筋力に着目して-	550,000
288	複合	田代 達也	弘前大学大学院理工学研究科理工学専攻自然エネルギー学コース	博士前期課程1年	廃業温泉施設の温泉熱を利用した寒冷地における亜熱帯果樹チェリモヤの栽培検討によるまちおこしへの貢献	700,000
289	複合	南部 正裕	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	修士課程2年	気候変動に伴う集中豪雨の増加が日本海側の閉鎖性海域における塩分場及ばす影響の解明	750,000
290	複合	岡本 彩	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻	博士前期課程2年	非侵襲性人工内耳の実現可能性:赤外光レーザー刺激アルゴリズムの確立	800,000
291	複合	相澤 彩美子	慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻	博士後期課程1年	揮発性2溶媒混合液の蒸発を伴う浸透過程で発生する動的界面挙動のRichards式による解析	700,000
292	複合	渡邊 知央	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科健康科学専攻	博士後期課程2年	運動を介した抗うつ効果に関与する脳内分子機構の探求~TSPOの視点から~	750,000
293	複合	冷 茜	愛媛大学大学院理工学研究科先端科学特別コース	博士後期課程2年	瀬戸内海における栄養塩総量と基礎生産に対する河川起源と太平洋起源栄養塩の寄与	810,000
294	複合	渡辺 樹	東京都立大学大学院都市環境科学研究科地理環境学域	博士前期課程2年	後期更新世テフラ編年の高精度化-湿原堆積物とクリプトテフラ分析を用いた試み-	800,000
295	複合	豊島 理公	筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻	博士後期課程3年	共感と孤独感を生み出す手綱核オレキシンシグナル伝達	750,000
296	複合	北島 京祐	東邦大学大学院理学研究科	博士後期課程2年	海洋堆積物中におけるアナジャコUpogebia major由来の環境DNAの動態の解明	710,000
297	複合	松尾 アモリム クリスティーナ 菜々	徳島大学大学院医歯薬学研究部薬科学教育部薬学専攻	博士課程2年	白金製剤の体内動態制御による抗腫瘍効果の亢進と副作用低減に関する研究	600,000
298	複合	西 凌太郎	九州大学大学院工学府化学工学専攻	修士課程2年	肝細胞-類洞内皮細胞-胆管が複合した三次元肝組織構築技術の創出	750,000



別表（１）２０２２年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
299	複合	SHI ZHIYUAN	筑波大学大学院環境学学位プログラム	博士後期課程 1 年	浅海サンゴによるヨウ素同位取り込みメカニズム解明－海洋への人工放射性ヨウ素供給変遷史復元を目指して	313,650
300	複合	武藤 大知	京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻	修士課程 2 年	魚類耳石の超精密安定同位体分析技術の高度化とマアジの生態解明への応用	740,000
301	複合	鷹取 慧	同志社大学自己組織化科学研究センター	研究員	組織切片の進展応答：病態に依存したひび割れパターン	500,000
302	複合	杉野 広堯	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	博士課程 2 年	片側半球による左右両上肢の直接的制御の検証	750,000
303	複合	大塚 進平	富山大学大学院理工学教育部生物圏環境科学専攻	修士課程 2 年	巨大地震発生メカニズム解明にむけて～生物地球化学的プロキシからみる日本海溝海側の水循環像～	760,000
304	複合	Sun Jingyan	東京大学大学院学際情報学府	博士後期課程 3 年	演技訓練場面のコミュニケーションにおける情動的・認知的プロセス：マルチチャンネルの情報による検討	650,000
305	複合	石坂 勇毅	千葉大学大学院融合理工学府基幹工学専攻医工学コース	博士後期課程 2 年	内耳保護機能の強化に向けたオリーブ蝸牛束反射の予測的制御メカニズムの解明	700,000
306	複合	船越 逸生	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科リハビリテーション学専修	博士前期課程 2 年	末梢筋の運動単位協調構造から解明する高齢者歩行速度低下要因	500,000
307	複合	鈴木 明政	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻	博士後期課程 3 年	岩石・鉱物学的手法と同位体宇宙化学的手法の融合による太陽系開闢期における固体物質の形成環境の解明	700,000
308	複合	遠藤 凌雅	東京農工大学大学院工学府応用化学専攻	博士前期課程 2 年	ECM の弾力性が、がん発生段階から転移までの各ステップにもたらす影響の調査	610,000
309	複合	千々和 遊木	熊本県立大学大学院環境共生学研究科環境共生学専攻	博士前期課程 2 年	熊本県の農地におけるマイクロプラスチックの分布・動態の解明	600,000
310	複合	檜垣 北斗	東北大学理学研究科地学専攻	博士後期課程 3 年	津波土砂移動数値解析を利用した地質調査と津波履歴の解明	500,000
						192,190,996

別表（２）２０２２年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）

（単位：円）

No	助成者名	対象領域	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	坂田 尚子	教員・NPO職員等	ふじのくに地球環境史ミュージアム	企画担当	博物館科学館等社会教育施設における幼児から小学生へ向けた STEM/STEAM 教育プログラムの実践	300,000
2	高橋 唯	教員・NPO職員等	慶應義塾幼稚舎サイエンスミュージアム	教諭	都心部の学校でボーリングコアを採取し、学校の地下の地層を観察する授業実践	360,000
3	東 義詔	学芸員・司書等	（公財）花と緑の銀行中央植物園部企画情報課	主任	植物園と水族館との協働による海洋生物の生態調査と展示への活用	380,000
4	山田 菜月	学芸員・司書等	市立小樽美術館	学芸員	美術と福祉の多視点による障害者の芸術作品の展示に関する研究－発展期における新たなアーカイブ作成－	290,000
5	小川 誠	学芸員・司書等	徳島県立博物館	課長	博物館活動の活性化の実践「ボランティアと一緒に光る貝の展示を作ろう」	340,000
6	倉方 慶明	学芸員・司書等	東京外国語大学文書館	特定研究員	地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット開発のための実践的研究	320,000
7	小嶋 翔	教員・NPO職員等	吉野作造記念館	主任研究員	民間による地域アーカイブズの経営と活用	330,000
8	山中 史江	学芸員・司書等	筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所	技術専門職員	一般市民との協働による地域資源を活用した生涯学習の場「みんなの標本庫」基盤開発	310,000
9	長谷川 匡弘	学芸員・司書等	大阪市立自然史博物館	学芸員	博物館標本を活用した身近なハナバチ同定のためのガイドブックの作成および普及教育の推進	270,000
10	高松 美紀	教員・NPO職員等	東京学芸大学附属国際中等教育学校	教諭	21世紀型スキルを育成する学校図書館の実践研究－デジタル化の課題と情報リテラシーの育成に焦点を当てて	330,000
11	伊藤 幸子	教員・NPO職員等	（一社）友愛くらしの相談所	代表理事	高齢障害者に対する介護保険制度移行期の支援のあり方に関する研究－ケアマネジャー等への質的調査から	330,000
12	宮丸 晶	学芸員・司書等	大阪市立科学館	技術職員	オンライン配信と展示を融合させた新たな教育普及手法の開発－コロナ時代の科学館の現場から－	160,000
13	松山 ひとみ	学芸員・司書等	大阪中之島美術館	学芸員	テープメディア再生エラー同定のための知識とリソースの共有	50,442
14	居村 貴子	教員・NPO職員等	川崎医療短期大学医療介護福祉学科	講師	介護福祉士養成における教育プログラムの強化－他職種との連携で必要となる知識獲得のために－	210,000
15	重野 裕美	学芸員・司書等	九州大学総合研究博物館	専門研究員	自己肯定感を育むアートワークの開発と検証－入院児と健常児を繋げる塗り絵ブック制作と遠隔交流	330,000
16	塩飽 敏史	教員・NPO職員等	（公財）水島地域環境再生財団	理事兼研究員	高校生による浅海域の底質中マイクロプラスチックの空間的・時代的分布調査～地域社会の意識変革に向けて～	370,000
17	山口 弘幸	教員・NPO職員等	NPO 法人エスペランサ	理事長	精神障害当事者と協働した学校メンタルヘルスリテラシー教育の実証的研究	133,414
18	岡田 智秀	教員・NPO職員等	日本大学理工学部まちづくり工学科	教授	海岸地域の観光資源を活用した「ワーケーション」の実施要件に関する実践的研究	199,332
19	根上 春	教員・NPO職員等	千葉大学大学院融合理工学府数学情報科学専攻	博士前期課程2年	「境界なき数学」を実現するコミュニティ形成の実施	380,000
20	寒河江 核	教員・NPO職員等	筑波大学附属桐が丘特別支援学校本校高等部	教諭	肢体不自由児の体育における深い学びの実現に向けた遠隔合同授業の実践	0
21	柴田 真緒	教員・NPO職員等	戸田市立美女木小学校	教諭	Covid-19 が子どもの発達に与える影響・困難に係る調査研究：睡眠・生活リズムの困難を中心に	101,607
22	西尾 美登里	教員・NPO職員等	西九州大学看護学部看護学科	准教授	地域で暮らす独居男性を対象とした社会的処方の実践研究	180,000
23	諫山 憲司	教員・NPO職員等	明治国際医療大学保健医療学部 救急救命学科	教授	中山間地域における「こども防災士」養成による実践的防災人育成プロジェクト	180,000
						5,854,795

別表（3）2022年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
1	長山 昭夫	鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 海洋土木工学専攻	助教	The Thirty Second (2022) International Ocean and Polar Engineering Conference, Shanghai, China	Tsunami wave height by band pass filter along the southern Kyushu states where include offshore islands	95,000
2	薩摩 真介	立命館大学 文学部	准教授	8th IMHA International Congress of Maritime History	The British Fiscal-Military State and its Naval Policy: British Power Projection in Spanish America during the War of Jenkins Ear, 1737-1740	279,000
3	二文字屋 脩	愛知淑徳大学交流文化学部	准教授	13th International Conference on Hunting and Gathering Societies	Between Altruistic and Autonomous : On Well-being among the Mlabri in Thailand	51,302
4	小間 陸嗣	金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻 運動生理学・生化学研究室	博士後期課程1年	American College of Sports Medicine 69th Annual Meeting	Interaction of myoglobin with Hsp70 chaperone: implication in mitochondrial translocation via TOM complex	25,768
5	安藤 佑介	瑞浪市化石博物館	学芸員	8th Symposium on Fossil Decapod Crustaceans	New information of Megaceradocus (Amphipoda) from the lower Miocene Morozaki Group, central Japan, with notes of Callianopsis (Decapoda) in situ in Burrows	258,000
6	五賀 友継	国際武道大学体育学部武道学科	特任助教	7th International Martial Arts Studies Conference	An invented tradition of Kyudo by internationalization	300,000
7	高橋 謙也	東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室	助教	18th International Biochemistry of Exercise Conference (IBEC)	Effect of lactate administration on mitochondrial respiratory function in mouse skeletal muscle	287,016
8	尾張 敏章	東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 北海道演習林	准教授	XV World Forestry Congress	Close-to-nature forestry application in northern Japan: 62 years of development at the University of Tokyo Hokkaido Forest	236,430
9	霜山 祥子	東京大学 大学院教育学研究科 教育心理学コース 遠藤利彦教授研究室	博士後期課程3年	International Society for Autism Research 2022 Annual Meeting	A Critical Review of Measuring Method for Assessing Prevalence of Gender Dysphoria Among Individuals with Autism Spectrum Disorder. - Based on the Results of Interview Survey about Gender Dysphoria Experience of ASD Individuals in Japan.-	240,000
10	下嶋 聖	東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 地域環境保全学研究室	准教授	2nd Asia Parks Congress	A case of study of Trail Management and Vegetation Restoration Project by Collaborative Management in the Northern Alps, Japan	193,000
11	藤井 竣	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 田原淳一郎研究室	博士後期課程2年	The 32nd International Ocean and Polar Engineering Conference	Dynamic Positioning Control of Unmanned Surface Vehicle for Core Sampling: Correction Input Using Neural Network	60,162
12	長田 浩一	東北大学	助教	Chemistry Frontiers 2022	Synthesis and Properties of a Tetrahedral Fe Complex with Metal-Centered Chirality	61,220
13	木場 安莉沙	名古屋文理大学健康生活学部フードビジネス学科	助教	Sociolinguistics Symposium 24	Anti-Asian Hate Related to COVID-19 Veiled by Animal Rights Discourse	45,000
14	玉木 峻	理化学研究所微細藻類生産制御技術研究チーム	研究員	Redox Biology Congress 2022	Carotenoid biosynthesis contributes to the ascorbate-glutathione cycle regulation to protect against ROS accumulation in microalga Euglena gracilis	289,239
15	矢部 哲也	山梨学院大学スポーツ科学部	特任講師	27th Annual Congress of the European College of Sport Science	Synergistic effect of acute self-paced running and social connection on circulating endocannabinoids level and affect: a randomized and counterbalanced crossover trial.	259,916
16	Kotchakorn T.sriwong	東京工業大学生命理工学院生命理工学系	博士課程3年	Biocatalysis: Gordon Research Seminar (GRS) and Gordon Research Conference (GRC)	Applications of nanotechnology in an alcohol dehydrogenase immobilization for asymmetric reduction of ketones	300,000
17	高山 佳樹	創価大学プランクトン工学研究所	任期付き助教	ECSA 59 Using the best scientific knowledge for the sustainable management of estuaries and coastal seas	High-density aggregation of meso-zooplankton at sea surface micro layer in temperate coastal water of Sagami Bay, Japan	264,460
18	藤谷 拓嗣	中央大学理工学部生命科学科	助教	18th International Symposium on Microbial Ecology (ISME18)	Physiology and genomics of a soil nitrite-oxidizing bacterium, Nitrobacter sp. CN101 with high affinity to nitrite	300,000

別表（3）2022年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
19	今泉 研人	慶應義塾大学医学部生理学教室	特任助教	ISN-APSN 2022 Biennial Meeting	Self-patterning of brain organoids by adhesion-based cell assembly	300,000
20	曾村 みずき	東京藝術大学音楽学部楽理科	教育研究助手	The 46th International Council Traditional Music World Conference	The Prevalence of Modern Biwa Music: Focusing on Radio Broadcasting from the Latter 1920s to 1930s	254,902
21	新川 はるか	石川県立大学生物資源工学研究所植物細胞工学研究室	特別研究員	20th International Symposium on Iron Nutrition and Interactions in Plants	The basic leucine zipper transcription factor OsbZIP83 and the glutaredoxins OsGRX6 and OsGRX9 are novel regulatory factors mediating iron utilization downstream of OsHRZ ubiquitin ligases	300,000
22	藤川 昂	物質・材料研究機構国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)電気化学ナノバイオテクノロジーグループ	ポスドク	International Society for Microbial Electrochemistry and Technology	Materials Informatics Approach Combined with High-throughput Electrochemistry to Model Extracellular Electron Transport via Electron Shuttles	300,000
23	生野 賢司	兵庫県立人と自然の博物館自然・環境評価研究部地球科学研究グループ	研究員	11th International Symposium on Cephalopods Present and Past	Shell morphology of the Cretaceous genus Polyptychoceras (Ammonoidea: Diplomoceratidae) and its taxonomic and phylogenetic implications	300,000
24	中村 夏織	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士課程後期2年	International conference on Microplastic pollution in the Mediterranean Sea	MICROPLASTICS IN SPRING AND RAINFALL COLLECTED FROM SUBTROPICAL REGIONS IN OKINAWA, JAPAN	300,000
25	伊藤 岳	大阪公立大学大学院理学研究科動物社会学研究室	特任助教	International Society for Behavioral Ecology Congress 2022 (ISBE 2022)	Evolution of sperm characteristics by fertilization mode and sperm competition: How common is marine fishes?	300,000
26	遅 源	順天堂大学医学部生化学第一講座	博士研究員	International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL)	12-HHT/BLT2 axis promotes cell membrane repair and protects epithelial cells from pore-forming toxin-induced cell death	299,000
27	土山 紘平	筑波大学生命環境系環境生態化学研究室	博士特別研究員	INTECOL2022(International Congress of Ecology)	Functions of Metabolites Produced by the Root Endophyte, Pezizula ericae, Infecting Aucuba japonica, Naturally Growing at a Mine Site	0
28	木田 拓充	北陸先端科学技術大学院大学	助教	Asian-Austrarian Workshop on Polymer Processing 2022	Rheo-Raman Spectroscopic Study of Flow-Induced Crystallization of Semi-Crystalline Polymers	26,942
29	石垣 侑祐	北海道大学大学院理学研究院	准教授	International Congress on Pure & Applied Chemistry (ICPAC) Kota Kinabalu 2022	$\pi$ -Electronic Molecules with Distorted C-C Covalent Bonds: Reversible Switching of Structure and Physical Properties	295,000
30	宋 苑瑞	早稲田大学教育学部	非常勤講師	American Geophysical Union (AGU) Fall meeting	Are California Wildfires Caused by Climate Change?	300,000
31	蔡 一涵	北海道大学 環境科学院	博士後期課程1年	British Ecological Society Annual Meeting 2022	Spatial variation in forest soil respiration: a systematic review of field observations at the global scale	296,000
32	中潟 崇	医業基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部 行動生理研究室	研究員	Recent Advances and Controversies in Measuring Energy Metabolism	Estimating Energy Cost of Body Weight Resistance Exercise Using a Multistage Exercise Test	262,839
33	田井 健太郎	群馬大学共同教育学部保健体育講座体育哲学研究室	准教授	11th INTERNATIONAL MARTIAL ARTS and COMBAT SPORTS SCIENTIFIC SOCIETY International Conference	A study on Budo in Japanese school physical education-Focusing on "competition" as learning content-	300,000
34	山中 真人	横浜国立大学 工学研究院 素粒子論研究室	博士研究員	The 8th Quantum Science (QS) symposium, International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering (ICCMSE2022)	Thermal relic density of super heavy dark matter	300,000

別表（3）2022年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
35	青木 孝文	川崎医療福祉大学	講師	The 15th International Society of Exercise and Immunology Symposium	The combined effect of PHGG and exercise on obesity via changes in gut microbiota.	300,000
36	山形 高司	川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科	助教	15th Symposium of the International Society of Exercise and Immunology	Noradrenergic stimulation increases T cell-induced acetylcholine production	206,000
37	小柳 えり	川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科	講師	The 15th Symposium of International Society of Exercise and Immunology (ISEI)	Effect of partially hydrolyzed guar-gum intake on LPS-induced systemic inflammation via gut microbial fermentation in mice	300,000
38	小井土 凜々子	筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群	博士後期課程1年	Student Conference on Conservation Science 2022 NewYork	The impact of population control on Asian black bear populations in Nagano, Japan	274,722
39	遠藤 美奈	沖縄県立芸術大学音楽学部音楽文化専攻	准教授	Association for Asian Studies 2023 Annual Conference	Music and Sound in Japanese Religions	300,000
40	塩田 拓也	宮崎大学テニユアトラック推進室	テニユアトラック准教授	48th Lorne Conference on Protein Structure and Function	Discovery of a conserved rule and role behind the assembly of $\beta$ -barrel membrane proteins	245,361
						9,306,279

別表（４）２０２２年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表

	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	梶西 由記子	女	日本	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻	博士後期課程 2年	17世紀オランダ絵画に見る芸術と科学：静物画に描かれた頭蓋骨の解剖学的アプローチによる画像分析
2	人文・社会	川村 潤子	女	日本	名古屋大学大学院人文学研究科文化動態学コース	博士後期課程 3年	中間層ニューカマーとしての中華料理人の移民実態と展望－海を渡った中国人のネットワーク形成の視点から
3	数物・工学	加賀見 俊介	男	日本	筑波大学大学院理工生命情報学術院システム情報工学研究群構造エネルギー工学学位プログラム	博士前期課程 2年	気泡と超音波が切り拓く低侵襲がん治療のための数理的・数値的基盤の創成
4	数物・工学	太田 雅人	男	日本	大阪大学レーザー科学研究科	特任研究員	超高エネルギー電子ビーム放射機構の実験的研究
5	化学	楠本 壮太郎	男	日本	神奈川大学工学部物質生命化学科	助教	柔軟な結晶の動的分子間を利用した特異機能性材料の創成
6	化学	宮原 涼	男	日本	九州大学大学院薬学府創薬科学科	博士後期課程 2年	酸化損傷塩基を特異的に認識しシーケンシングを可能にする人工核酸の開発
7	生物	森川 勝太	男	日本	東京大学大学院薬学系研究科	特任研究員	Axo-axonic 細胞特異的な観察と操作による情動回路の解析
8	生物	田中 愛海	女	日本	東京薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻	博士課程 3年	ヒト肺組織上における呼吸器細菌間クロストークの解明
9	生物	瀬戸口 優乃	女	日本	宮崎大学大学院農学研究科農学専攻応用生物科学コース	修士課程 2年	管理栄養士が慢性腎臓病患者のための低カリウム含有サツマイモを作る
10	生物	上原 春香	女	日本	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科自然科学専攻	博士後期課程 1年	学習の連鎖が引き起こす水田生態系における間接効果の評価
11	複合	萩野 魁人	男	日本	会津大学大学院コンピュータ理工学研究科コンピュータ・情報システム学専攻	修士課程 1年	機械学習による月の南北極未踏地域の電子地図製作
12	複合	劉 自振	男	中国	長岡技術科学大学大学院工学研究科エネルギー・環境工学専攻	博士後期課程 1年	微小腫瘍の超早期診断・治療を実現するクロロフィル含有アパタイトナノ結晶の創製
13	海洋関連研究	中島 広喜	男	日本	琉球大学大学院理工学研究科	博士後期課程 1年	絶滅危惧種シマトラフヒメシャコをはじめとした沿岸性希少シャコ類の探索と分類学的研究
14	海洋関連研究	大町 知輝	男	日本	室蘭工業大学大学院工学専攻	博士後期課程 1年	水産系廃棄物アコヤガイ貝殻真珠層の有効利用－機能性食品としての利用－
15	実践	山田 菜月	女	日本	市立小樽美術館	学芸員	美術と福祉の多視点による障害者の芸術作品の展示に関する研究－発展期における新たなアーカイブ作成－
16	実践	塩飽 敏史	男	日本	(公財)水島地域環境再生財団	理事兼研究員	高校生による浅海域の底質中マイクロプラスチックの空間的・時代的分布調査～地域社会の意識変革に向けて～

別表（５）２０２１年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表

No.	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	于海春	女	中国	早稲田大学現代政治経済研究所	次席研究員	腐敗問題報道における中国地方紙のメディアフレームの比較分析－計量テキスト分析を中心に－
2	人文・社会	宮本 佳和	女	日本	国立民族学博物館	外来研究員	ナミビア・ヘレロの祖先観念と伝統的権威の祖先の土地返還運動に関する人類学的研究
3	数物・工学	世田 拓也	男	日本	京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻	博士後期課程 2年	リサージェンスを用いたアノマリー相殺構造の拡張と応用
4	数物・工学	TANG TAO	男	中国	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学研究領域	博士後期課程 2年	フェムト秒レーザー誘起衝撃力を用いた1細胞物性のオンチップ電気計測手法の開発
5	化学	Kotchakorn T.sriwong	女	タイ	東京工業大学生命理工学大学院生命工学系	博士課程 2年	3Dプリンターとナノテクノロジーを駆使する環境調和型の新規酵素反応システムによる有用物質の合成
6	化学	西野 龍平	男	日本	立教大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程 3年	ベンゼンのケイ素類縁体の合成と性質解明を通じた芳香族性に関する研究
7	生物	荒木 球沙	女	日本	国立感染症研究所寄生動物部	研究員	電子顕微鏡を用いた休眠期マラリア原虫のオルガネラ 3D 構造解析
8	生物	土田 仁美	女	日本	名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻	博士後期課程 2年	泌乳ラットにおける性腺機能抑制の脳内メカニズムの解明
9	生物	瑤寺 裕	男	日本	北海道大学大学院農学院農学専攻	博士後期課程 2年	食べ物と食べ方を変化させ種多様化する「薬もぐりタマムシ」の分類・系統に関する研究
10	生物	瀬川 太雄	男	日本	日本大学生物資源科学部獣医学科	助教	イルカ類の胃から分離した新種ウレアプラズマ属細菌の機能解析 ～イルカ類との共生関係の解明を目指して～
11	複合	宮本 大祐	男	日本	富山大学アイドリング脳科学研究センター	准教授	オール光学式電気生理学による記憶の固定化を担う睡眠脳ダイナミクスの時空間構造の理解
12	複合	古賀 達也	男	日本	京都大学大学院農学研究科森林科学科森林・人間関係学専攻	博士後期課程 1年	ジビエ利用を軸とする地域協働型野生動物管理システム
13	海洋関連研究	盧 暁鳳	女	中国	東北大学大学院国際文化研究科国際文化研究専攻	博士前期課程 2年	環東シナ海における海域交流としての僧侶の役割
14	海洋関連研究	高井 優生	男	日本	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学科	博士後期課程 2年	海産魚類におけるエンドサイトーシスはマイクロプラスチックのベクター効果を増強するか？
15	実践	岩田 祐佳梨	女	日本	特定非営利活動法人チア・アート	理事長	院内のコミュニケーションを支援するアートプログラムの開発－筑波メディカルセンター病院を事例として－
16	実践	小河原 孝彦	男	日本	フォッサマグナミュージアム学芸係	主任主事	特別展「糸魚川の山々」における VR 登山展示の実践 ～コロナ時代の展示方法の模索～

別表(6) 2022年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

No.	氏名	学校名	学年	性別	研究テーマ	メンター/アシスタント氏名	所属先
1	岩佐 茜	群馬工業高等専門学校	3年生	女	固体酸と固体塩基の pH 差を利用した水の低電圧電気分解	八巻 徹也	高崎量子応用研究所
2	白井 智加	茨城県立水戸第二高等学校	3年生	女	Zn 金属葉 ~成膜のコントロールと構造解明~	丸山 智	元 TDK 株式会社
	遠藤 理紗		3年生	女			
※	沢村 紋音	青森県立八戸高等学校	3年生	女	黒星病について	平山 和幸	りんご研究所
	河原木 茉洋		3年生	女			
	野澤 さくら		3年生	女			
			3年生	女			
4 ※ ※	小林 麟太郎	兵庫県立小野高等学校	3年生	男	高齢者ドライバー運転支援アプリの開発	和田 正義	東京理科大学
5	小野 航平	慶應義塾高等学校	3年生	男	Myoware マッスルセンサを用いたロボットハンド製作及びその日常での用途の模索	牛場 潤一	慶應義塾大学
6	小川 友希	東京都立立川国際中等教育学校	3年生	女	植物種子抽出液の浄化作用	齋藤 敦子	東邦大学
						村本 哲哉	
						大坂 雄一郎	
7	青山 庵	安田学園高等学校	2年生	男	クロマルハナバチ (Bombus ignitus) の雄蜂でみられる倍数化が行動に及ぼす影響	淵側 太郎	大阪市立大学
8	高森 亜門	國學院大學栃木中学校	3年生	男	葛生と秩父のベルム紀の海の環境推定	上野 勝美	福岡大学
						奥村 よほ子	佐野市葛生化石館
9	佐伯 遥香	洗足学園高等学校	2年生	女	放置竹林軽減のための竹のセルローズを用いたジャイアントパンダ関連製品作成	衣本 太郎	大分大学
10	並里 璃王	群馬県立伊勢崎商業高等学校	3年生	男	コケ玉で発電~コケ玉微生物燃料電池の研究~	渡邊 一哉	東京薬科大学
	戸丸 彩		2年生	女		吉津 大智	
	山崎 葉奈		2年生	女			
11	濱野 慧	倭成学園中学校	3年生	男	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷福地で採集した海綿の骨片について	足立 奈津子	大阪公立大学
12	吉本 合音	洗足学園高等学校	2年生	女	蒸発量を考慮したニュートンの冷却法則	安中 さやか	東北大学
	鈴木 愛乃		2年生	女			
13	金井 海翔	成城高等学校	2年生	男	高塩分環境下に生息するバクテリアとアーキアの酵素活性の比較	黒沢 則夫	創価大学
14	森 湊祐	佐賀県立鳥栖高等学校	2年生	男	コウモリは、なぜ逆さまから前進飛行に移行できるか	田中 博人	東京工業大学
	20名	13校			14研究	メンター：16名、アシスタント：2名	

※特別賞受賞研究

※※優秀賞受賞研究



## 別表（7）役員名簿

（2023年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
会長	非常勤	高橋 正征	2020年 6月30日	業務の議決 ・執行等	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
常務理事	常勤	石倉 康弘	2018年 6月15日	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学名誉教授 京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター客員教授 (文化人類学)
同	同	室伏 きみ子	2020年 6月30日	同	お茶の水女子大学名誉教授 (細胞生物学、生化学、科学教育)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
監事	非常勤	菅井 明則	2016年 6月10日	業務執行等の監査	(公財)笹川平和財団常務理事
同	同	馬目 利昭	2020年 6月30日	同	馬目公認会計士事務所代表

## 別表（8）評議員名簿

（2023年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	門野 泉	2012年 4月1日	決算の承認等	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	西原 祥子	2016年 6月10日	同	創価大学糖鎖生命システム融合研究所所長・教授 (糖鎖生物学)
同	同	前野 隆司	同	同	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 (システムデザイン・マネジメント、ロボティクス、幸福学、感動学、協創学等)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	(公財)日本財団専務理事
同	同	境 浩光	2020年6月 30日	同	(株)科学新聞社代表取締役
同	同	竹本 和彦	同	同	(一社)海外環境協力センター理事長 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
同	同	中村 和生	同	同	北里大学名誉教授 (生化学)
同	同	山崎 壮	同	同	実践女子大学生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学)

2022年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2023年 5月 9日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 高橋 正 征

2022年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2023年 5月18日

公益財団法人 日本科学協会

監 事 菅 井 明 則 印

監 事 馬 目 利 昭 印

